

# 2024年度第3四半期決算の概要

(2024年4月1日～2024年12月31日)

2025年1月31日

**山陽特殊製鋼株式会社**  
<https://www.sanyo-steel.co.jp/>



「さんとくん」  
(当社キャラクター)

# 目次

## 1. 2024FY3Q決算の概況

2024FY4-12月期損益の概要

事業環境、欧州事業環境

業績推移(四半期)、セグメント別損益、貸借対照表(連結)

経常利益の変化要因(2023FY4-12月期→2024FY4-12月期)

## 2. 業績予想等

2024FY業績予想

2024FY配当予想

経常利益の変化要因(2024FY下期前回予想→2024FY下期今回予想、 2023FY→2024FY今回予想、  
2024FY上期→2024FY下期今回予想)

OVAKOの状況、SSMIの状況

## 3. トピックス

## 4. 2050年カーボンニュートラル(CN)実現に向けた取り組み

## 5. 参考資料

主要市場動向

業績推移(年度)、設備投資・減価償却費の推移、D/Eの推移

損益の詳細等

# 1. 2024FY3Q決算の概況

# 2024FY4-12月期損益の概要 (対2023FY4-12月期)

連結経常利益32億円(前年同期比-59億円)

売上数量の減少、OVAKOの一過性影響の縮小により、減収減益

外注・物流面を含む労務費の上昇も踏まえた販売価格の改定や鉄スクラップ価格の下落によるマージン改善があったものの、売上数量の減少やOVAKOの一過性影響の縮小などにより、前年同期比減収減益。

(単位：億円、%)

	2024FY4-12月期 (A)		2023FY4-12月期 (B)		増減 (A)-(B)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	増減率
売上高	2,470	100.0	2,690	100.0	-219	-8.2
営業利益	38	1.5	88	3.3	-51	-57.3
<b>経常利益</b>	<b>32</b>	<b>ROS 1.3</b>	91	ROS 3.4	<b>-59</b>	<b>-65.0</b>
内、当社単独	80	6.5	76	5.5	+3	+4.6
内、OVAKO	8	0.8	61	5.7	-53	-87.5
内、SSMI	6	3.3	5	2.7	+1	+24.2
内、のれん償却費	▲26	-	▲24	-	-2	-
税後利益 (注1)	12	0.5	63	2.3	-51	-80.4
のれん償却費を除く税後利益	38	1.5	87	3.2	-49	-56.4
<b>売上数量 (千t)</b>	<b>1,004</b>	<b>111.5 /月</b>	1,092	121.3 /月	<b>-88</b>	<b>-9.8 /月</b>
内、当社単独	556	61.8 /月	629	69.9 /月	-73	-8.2 /月
内、OVAKO	365	40.5 /月	376	41.8 /月	-11	-1.3 /月
内、SSMI	83	9.2 /月	86	9.6 /月	-3	-0.3 /月

(注1)親会社株主に帰属する四半期純利益

(注2)SSMI：1月～9月の数値

# 事業環境

## 需要動向

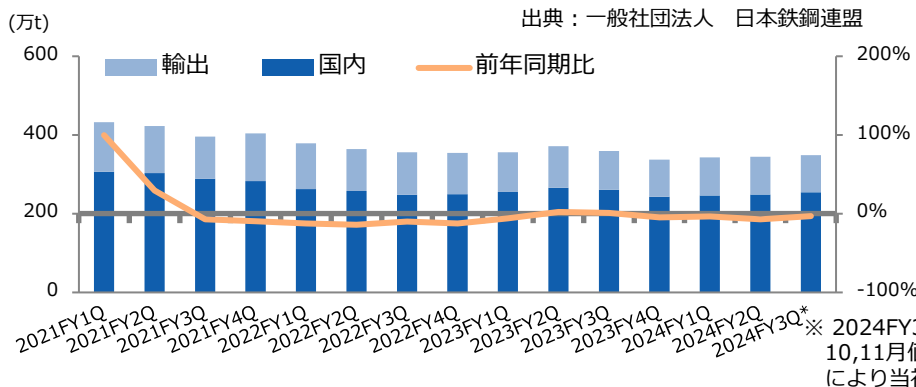
日本：自動車の生産・出荷停止影響は終息し、2024FY1Qを底に緩やかに回復。需要業界ごとの跛行性はあるものの、全体としては緩やかな回復が続くと期待。

欧州：金利の高止まりや中国経済の回復の遅れなどにより、需要が停滞。今後想定される追加利下げによる需要回復を期待。

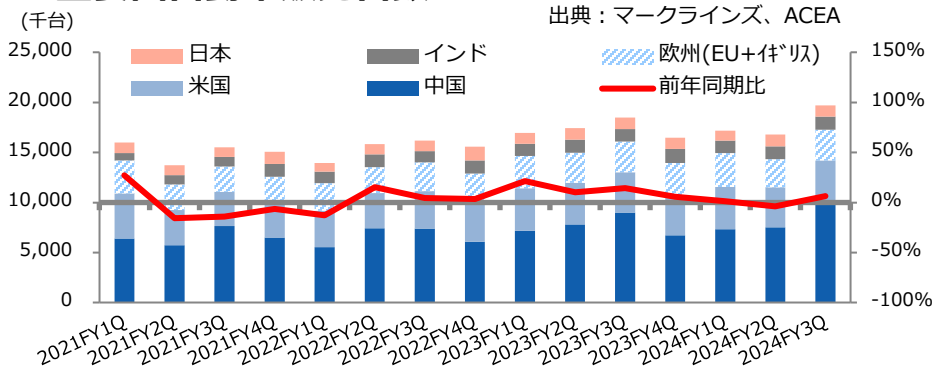
## 原燃料価格

概ね低下傾向。2024FYは前期比低下も、依然として高位で推移。物流費等のインフレも継続。

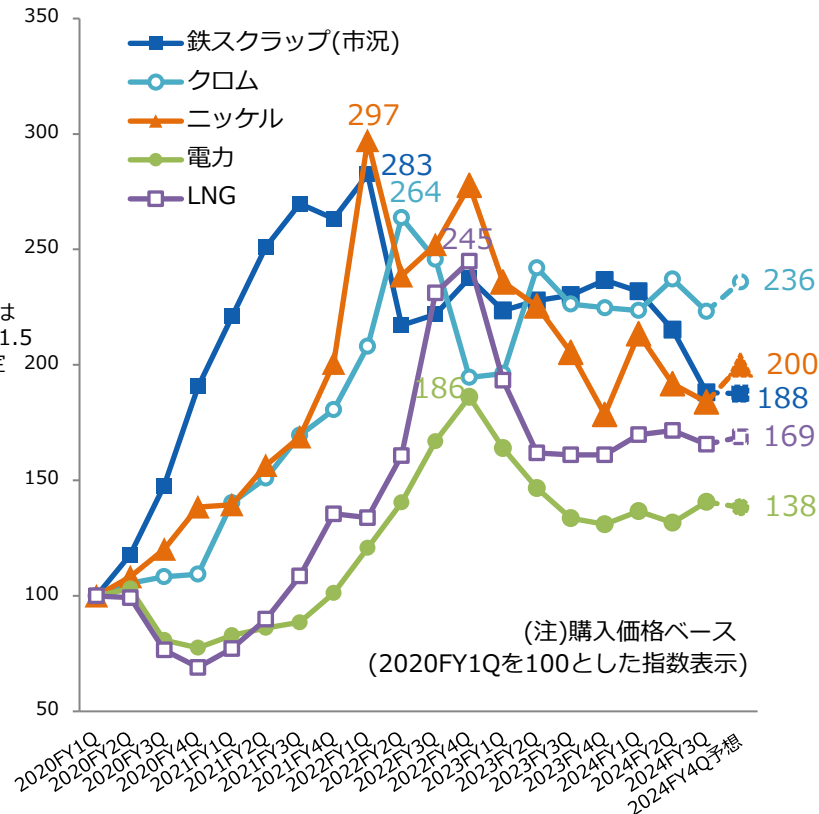
### 1. 特殊鋼受注数量



### 2. 主要国自動車販売台数



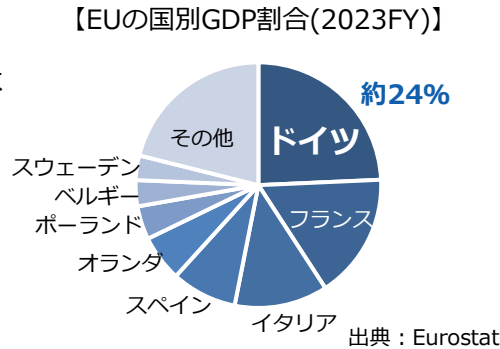
### 3. 原燃料価格推移



# 欧州事業環境

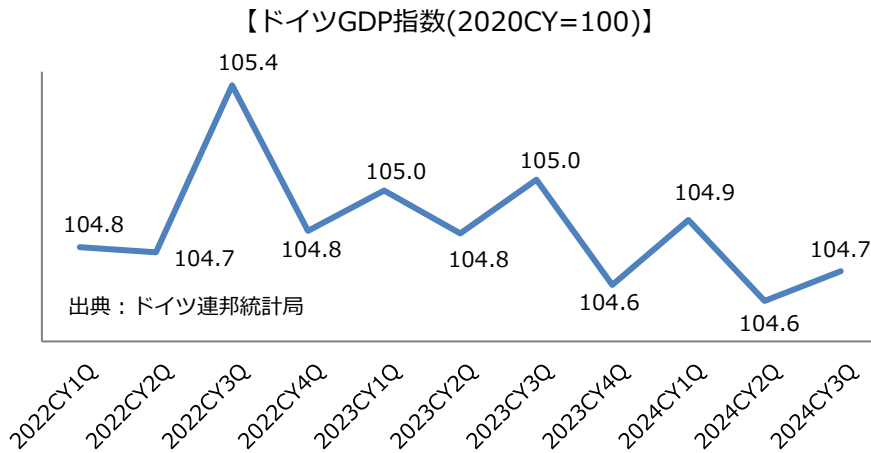
## EU経済に占めるドイツのポジション

ドイツはEU最大の経済国で、同国のGDPはEU全体の20%以上を占める。



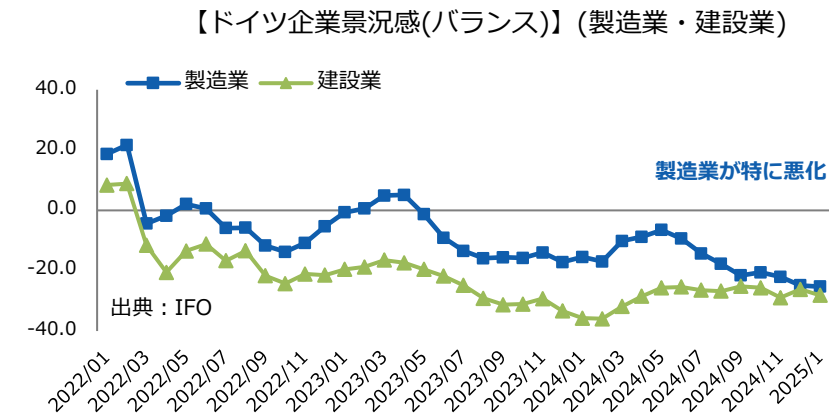
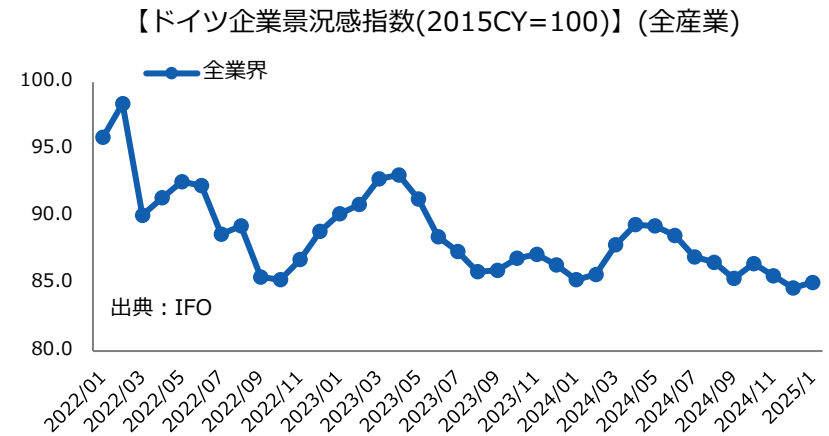
## ドイツGDP推移

2024年7-9月のドイツGDPは前四半期比0.2増。一方、速報での2024年GDP伸び率は前年比0.2減で2年連続のマイナス成長を示しており、厳しい状況が続いている。(10-12月速報値は前四半期比0.1減)

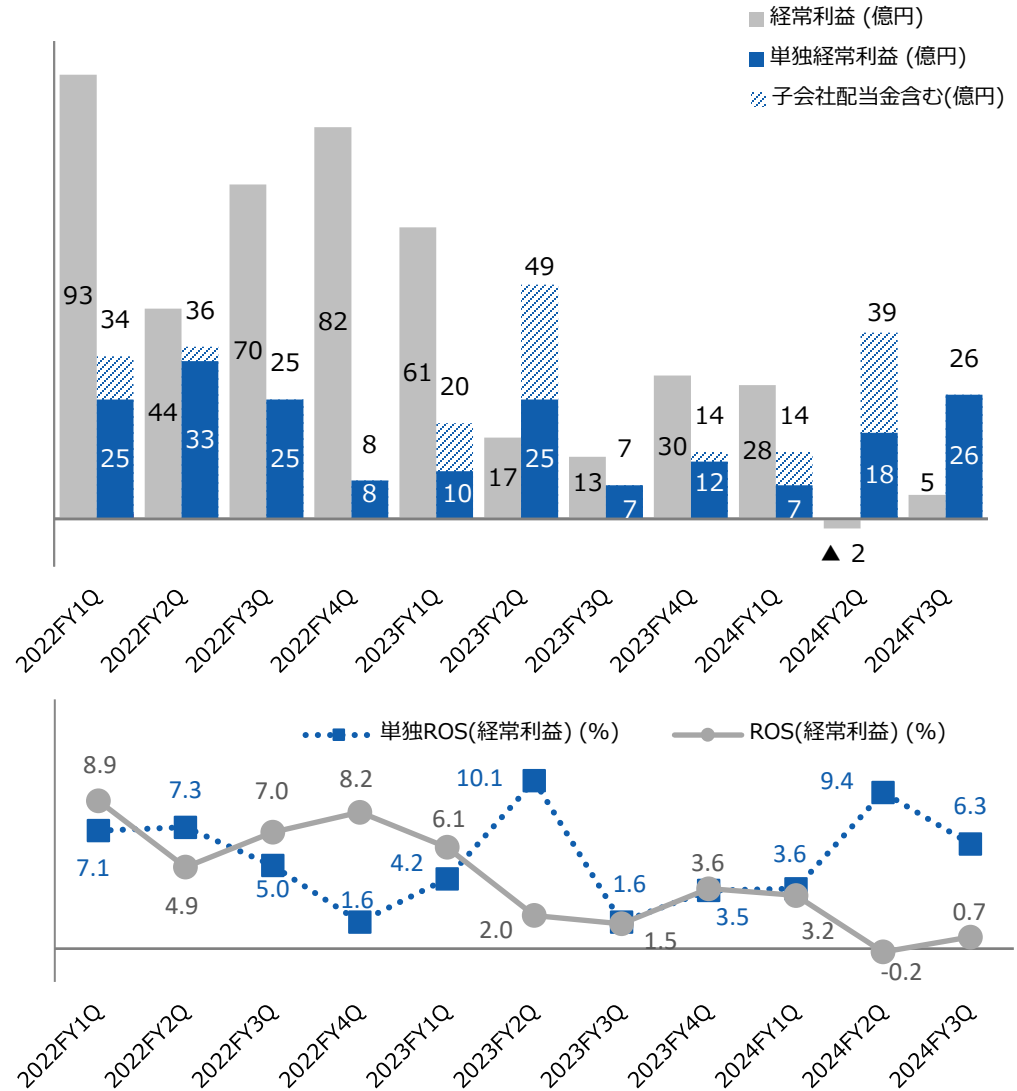
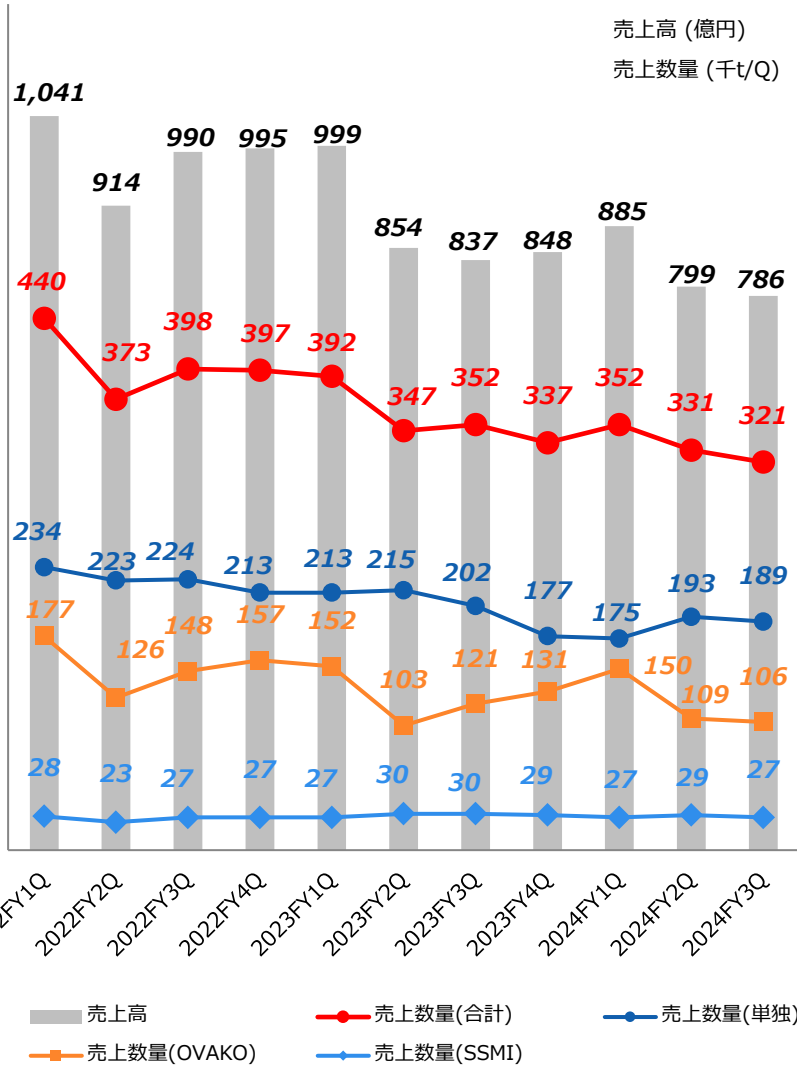


## ドイツ企業景況感

ドイツ企業景況感指数は、1月に若干改善したものの、依然として厳しい状況。製造業の景況感指数は、今後に対する悲観的な見方が強く、低位で停滞。



# 業績推移(四半期)



## セグメント別損益

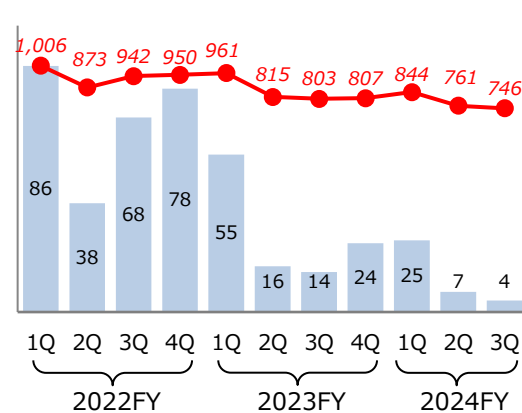
(単位：億円、%)

	2024FY4-12月期 (A)			2023FY4-12月期 (B)			対前年同期 (A)-(B)		
	売上高	営業利益	売上高 営業利益率	売上高	営業利益	売上高 営業利益率	売上高	営業利益	売上高 営業利益率
鋼材	2,351	37	1.6	2,579	85	3.3	-228	-48	-1.7
粉末	43	9	21.8	40	7	17.5	+2	+2	+4.3
素形材	136	▲9	-6.6	137	▲4	-3.2	-2	-5	-3.4
<b>小計</b>	<b>2,529</b>	<b>37</b>	<b>1.5</b>	<b>2,757</b>	<b>87</b>	<b>3.2</b>	<b>-227</b>	<b>-50</b>	<b>-1.7</b>
その他	12	0	2.1	10	0	2.4	+3	+0	-0.3
調整額	▲71	0	-	▲77	0	-	+5	-0	-
<b>連結計</b>	<b>2,470</b>	<b>38</b>	<b>1.5</b>	<b>2,690</b>	<b>88</b>	<b>3.3</b>	<b>-219</b>	<b>-51</b>	<b>-1.8</b>

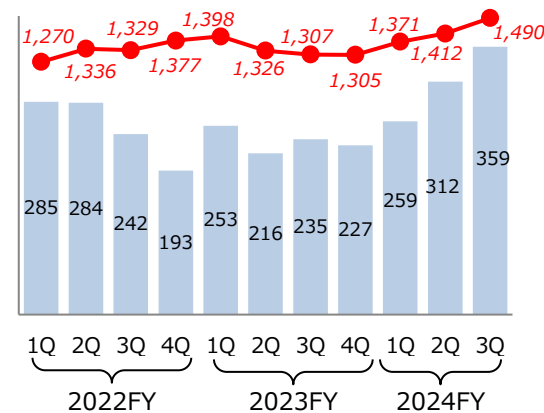
## 事業別損益推移

■ 営業利益 ● 売上高

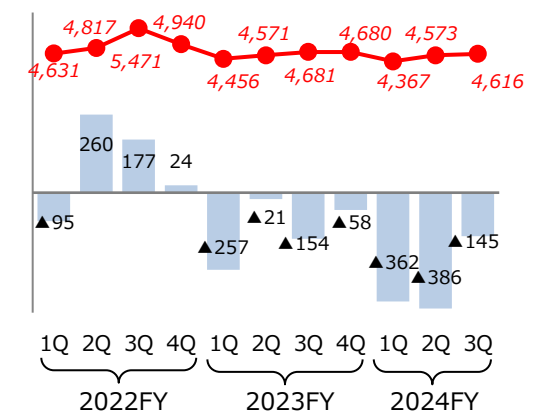
鋼材セグメント (単位：億円)



粉末セグメント (単位：百万円)



素形材セグメント (単位：百万円)





## 貸借対照表 (連結)

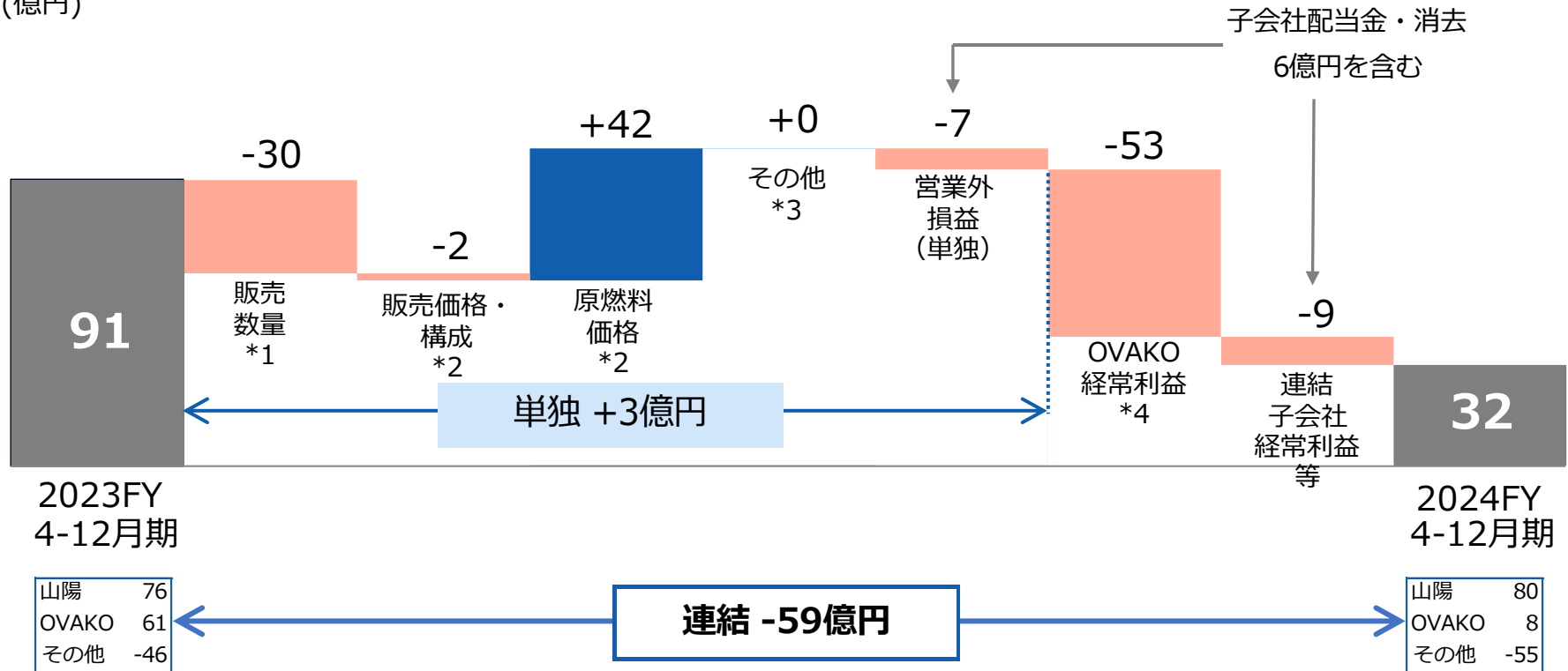
(単位：億円、円/株)

	2024/12 (A)	2024/3 (B)	増減 (A)-(B)	主な増減理由
<b>流動資産</b>	<b>2,177</b>	<b>2,284</b>	<b>-107</b>	<b>資産</b>
現預金	213	266	-53	[内、為替影響 +7億円]
関係会社預け金	44	48	-4	1. 売上債権 : 売上減に伴う減少
売上債権	693	729	-36	2. 棚卸資産 : 原燃料価格の下落等による減少
棚卸資産	1,159	1,192	-32	3. のれん : 償却-26億円、為替影響+3億円
<b>固定資産</b>	<b>1,672</b>	<b>1,703</b>	<b>-31</b>	
有形固定資産	1,242	1,235	+7	
のれん	307	330	-22	
投資その他	81	98	-17	
<b>資産合計</b>	<b>3,849</b>	<b>3,987</b>	<b>-138</b>	
<b>負債</b>	<b>1,598</b>	<b>1,701</b>	<b>-103</b>	<b>負債・純資産</b>
仕入債務	331	394	-63	[内、為替影響 +7億円]
有利子負債	885	829	+56	1. 有利子負債 : 運転資金調達に伴う増加
<b>純資産</b>	<b>2,250</b>	<b>2,286</b>	<b>-36</b>	2. 純資産 : 資本剰余金-19億円 利益剰余金-15億円 (税後利益+12億円、配当-27億円)
自己資本	2,237	2,267	-29	
非支配株主持分	13	19	-6	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,849</b>	<b>3,987</b>	<b>-138</b>	
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>58.1</b>	<b>56.9</b>	<b>+1.3</b>	【為替レート】
<b>1株当たり純資産</b>	<b>4,106.35</b>	<b>4,160.27</b>	<b>-53.92</b>	2024/12末 : 164.9円/€
<b>D/Eレシオ(ネット) (倍)</b>	<b>0.28</b>	<b>0.23</b>	<b>+0.05</b>	2024/3末 : 163.2円/€

(参考)主要各社の総資産額(2024/12末：連結消去前) 当社 2,718億円 OVAKO 1,253億円 SSMI 153億円

# 経常利益の変化要因 (2023FY4-12月期→2024FY4-12月期)

(億円)



## \*1 販売数量

- ・ 12%減 (-73千t : 629千t→556千t)

## \*2 サーチャージタイムラグ

- ・ 鉄スクラップ+10 (×2→○8)
- ・ エネルギー-12 (○11→×1)

## \*3 その他内訳

- ・ 変動費コストダウン+3、修繕費+4、固定費+1、諸資材・外注・物流費等-8

## \*4 OVAKO経常利益

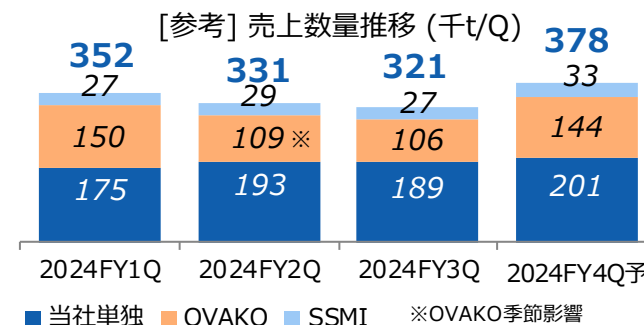
- ・ 販売数量 -14  
3%減 (-11千t : 376千t→365千t)
- ・ 一過性要因 -6 ( +6→0)  
エネルギー補助金 -6 ( +6→0)
- ・ 販売・原燃料価格、構成 -60
- ・ その他(固定費等) +27

## 2. 業績予想等

# 2024FY業績予想 (2025/1/31公表)

## 連結経常利益110億円(前期比-11億円)

緩やかな需要回復が期待されるものの、中国・欧州経済の停滞やインフレの継続による世界経済への影響が懸念される。引き続き販売価格改定を進めるとともにコストダウンにも取り組むことによりマージンを維持・拡大していく。



(単位：億円、%)

	今回予想(25/1/31)				前回予想(24/10/31)		増減		
	上期実績	3Q実績	4Q予想	下期	通期	下期	通期	前回予想 →今回予想	3Q→ 4Q予想
売上高	1,684	786	912	1,698	3,382	1,736	3,420	-38	+125
営業利益	31	7	74	81	112	101	132	-20	+68
<b>経常利益</b>	26	5	78	84	110	104	130	-20	+73
内、当社単独	53	26	35	62	115	62	115	-	+9
内、OVAKO	21	▲13	27	14	35	34	55	-20	+40
内、SSMI	4	2	4	6	10	6	10	-	+2
内、のれん償却費	▲17	▲8	▲8	▲17	▲34	▲17	▲34	-	+0
税後利益 (注1)	15	▲3	58	55	70	80	95	-25	+61
ROE (%)					3.1		4.1	-1.0	
のれん償却費を除く税後利益	32	6	66	72	104	97	129	-25	+60
ROE (%)					4.6		5.6	-1.0	

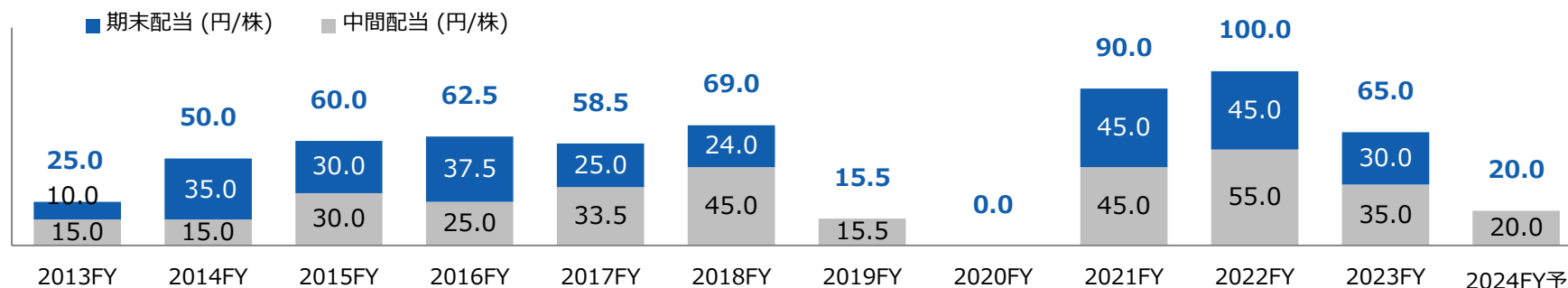
(注1) 親会社株主に帰属する当期純利益 (注2) SSMI：1月～12月の数値

【予想の主要前提(2025年1月以降)】

- ・鉄スクラップ(購入) 42.0 千円/t(姫路地区H2市況)
- ・原油(ドバイ) 80\$/BL ・為替 155円/\$、160円/€

## 2024FY配当予想 (2025/1/31公表)

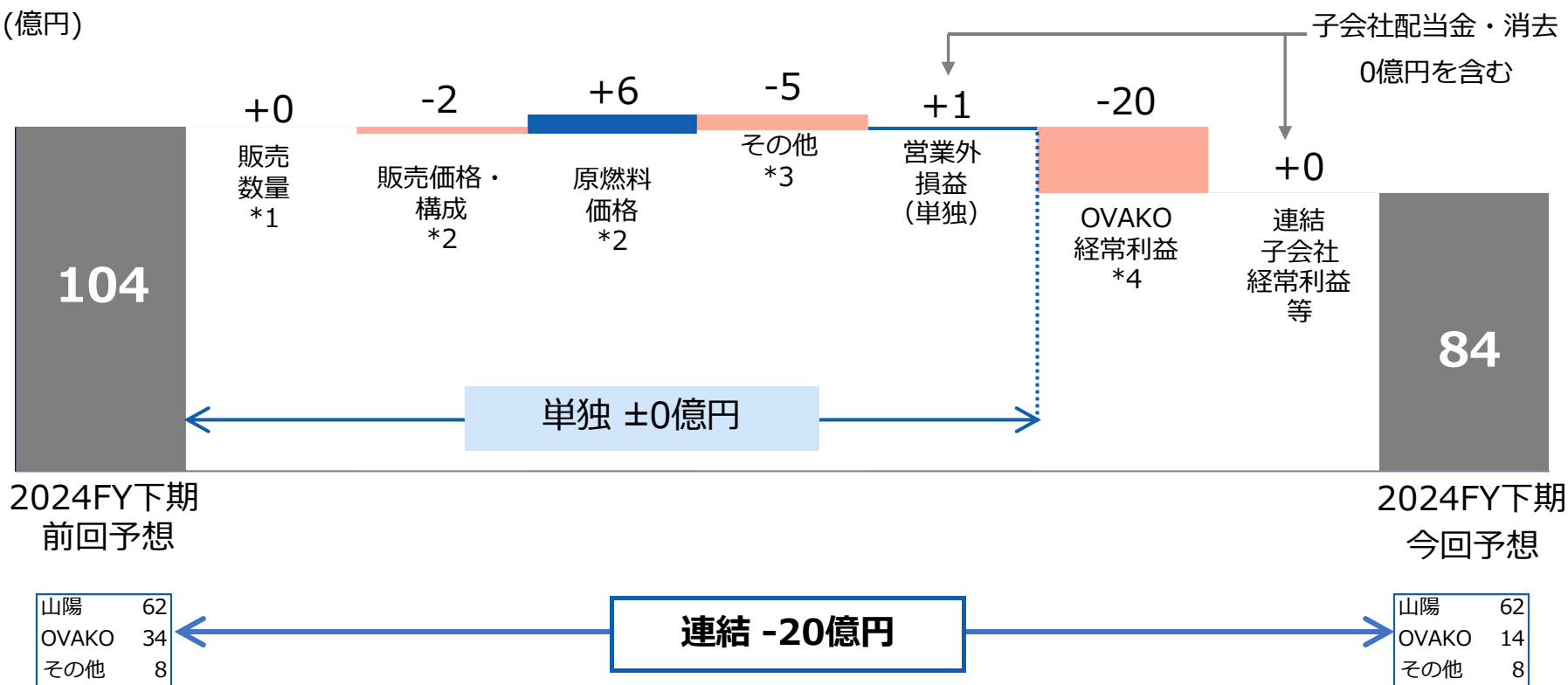
	中間 (実績)	今回予想 (2025/1/31公表) (A)		前回予想 (2024/10/31公表) (B)		増減 (A)-(B)	
		期末 (予想)	通期	期末 (予想)	通期	期末	通期
		1株当たり配当金	20.0円	-	20.0円	50.0円	70.0円



当社の支配株主である日本製鉄による当社株式に対する公開買付けが成立することを条件に、**2024FY配当予想を修正し、2024FYの期末配当を行わないことを決議いたしました。**公開買付けについて詳しくは2025年1月31日発表の「当社親会社である日本製鉄株式会社による当社株式に対する公開買付けに係る賛同の意見表明及び応募推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

# 経常利益の変化要因 (2024FY下期前回予想→2024FY下期今回予想)

(億円)



## \*1 販売数量

- ・ 0% (0千t : 390千t→390千t)

## \*2 サーチャージタイムラグ

- ・ 鉄スクラップ+2 (○9→○11)
- ・ エネルギー+0 (×0→×0)

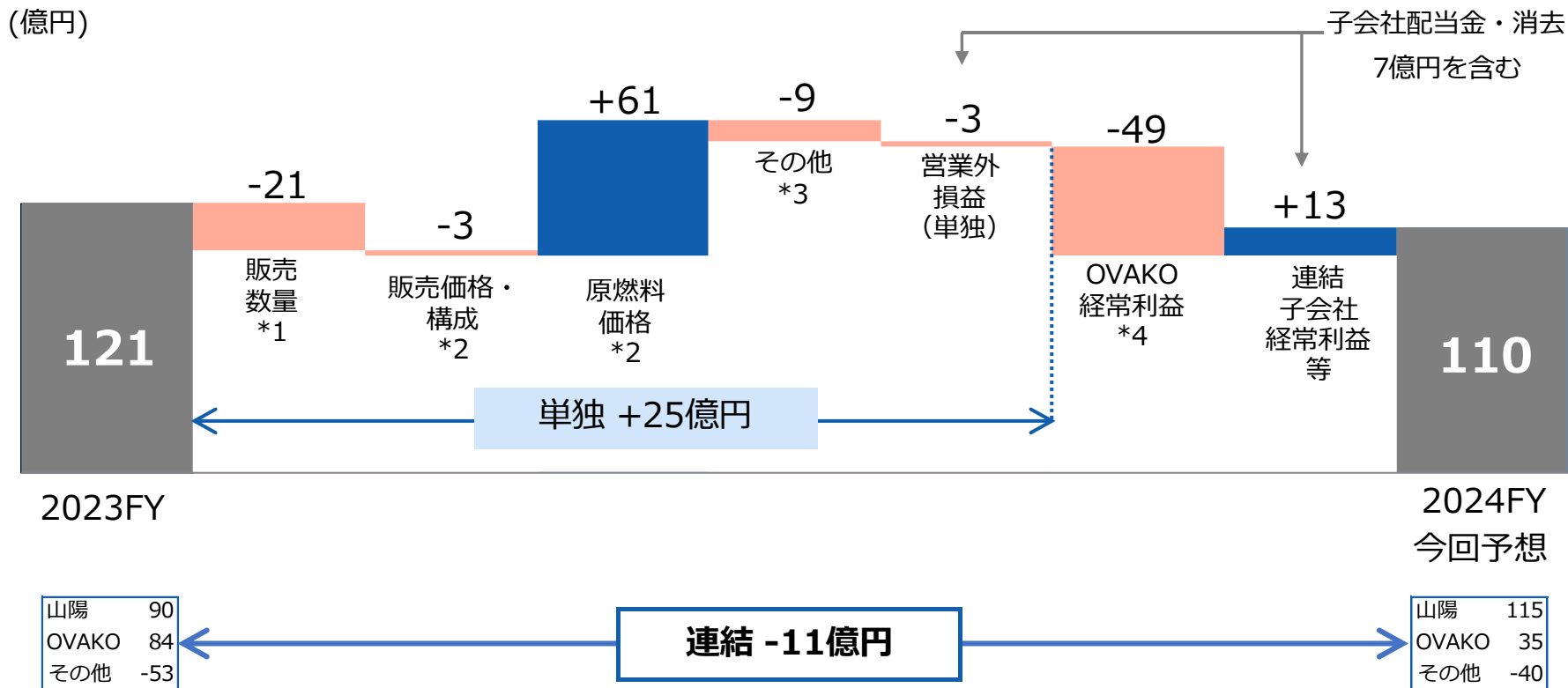
## \*3 その他内訳

- ・ 変動費コストダウン-1、諸資材・外注・物流費等-3、修繕費-1

## \*4 OVAKO経常利益

- ・ 販売数量 -31  
10%減 (-26千t : 276千t→250千t)
- ・ 一過性要因 +4 (0→+4)  
うち、為替影響 +4 (0→+4)
- ・ 販売・原燃料価格、構成 -19
- ・ その他(固定費等) +26

# 経常利益の変化要因 (2023FY→2024FY今回予想)



## \*1 販売数量

- ・ 6%減 (-49千t : 806千t→757千t)

## \*2 サーチャージタイムラグ

- ・ 鉄スクラップ+15 (×3→○12)
- ・ エネルギー-18 (○17→×1)

## \*3 その他内訳

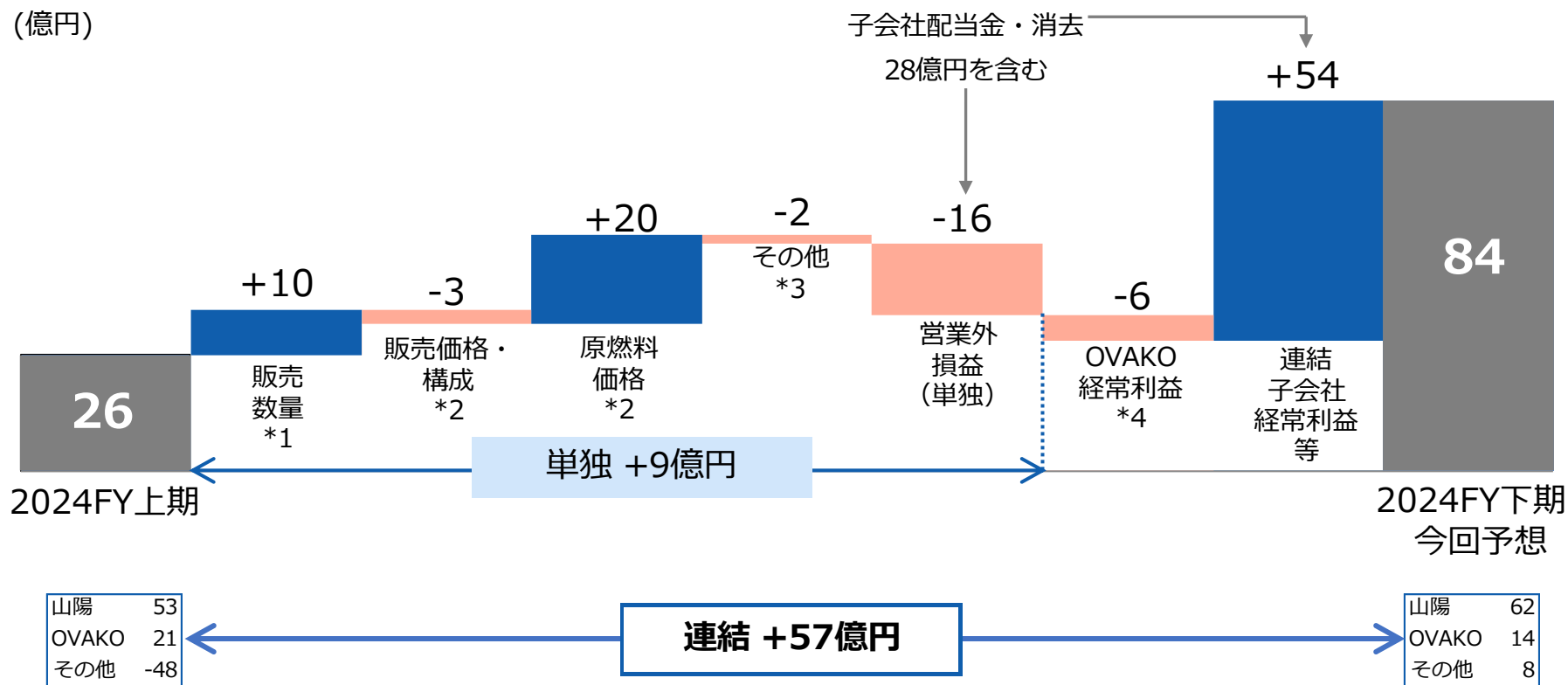
- ・ 変動費コストダウン+7、修繕費+5、諸資材・外注・物流費等-16、固定費-5

## \*4 OVAKO経常利益

- ・ 販売数量 +0  
0%増 (+1千t : 508千t→509千t)
- ・ 一過性要因 -13 ( +13→0)  
うち、為替影響 -4 ( +4→ 0)  
エネルギー補助金 -6 ( +6→ 0)  
その他 -3 ( +3→ 0)
- ・ 販売・原燃料価格、構成 -70
- ・ その他(固定費等) +34

# 経常利益の変化要因 (2024FY上期→2024FY下期今回予想)

(億円)



## \*1 販売数量

- ・ 6%増 (+22kt : 367kt→390kt)

## \*2 サーチャージタイムラグ

- ・ 鉄スクラップ+10 (○1→○11)
- ・ エネルギー+0 (×1→×0)

## \*3 その他内訳

- ・ 変動費コストダウン+2、修繕費+4、諸資材・外注・物流費等-2、固定費-6

## \*4 OVAKO経常利益

- ・ 販売数量 -13  
4%減 (-9kt : 259kt→250kt)
- ・ 一過性要因 +8 ( -4→+4)  
うち、為替影響 +8 ( -4→+4)
- ・ 販売・原燃料価格、構成 (変動費コストダウン含む) -12
- ・ その他(固定費等) +11



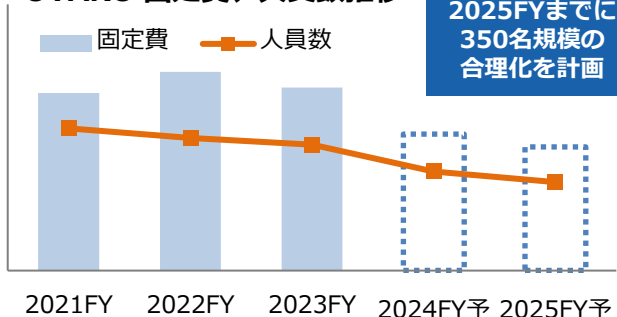
# OVAKOの状況

## 2024FY見通し

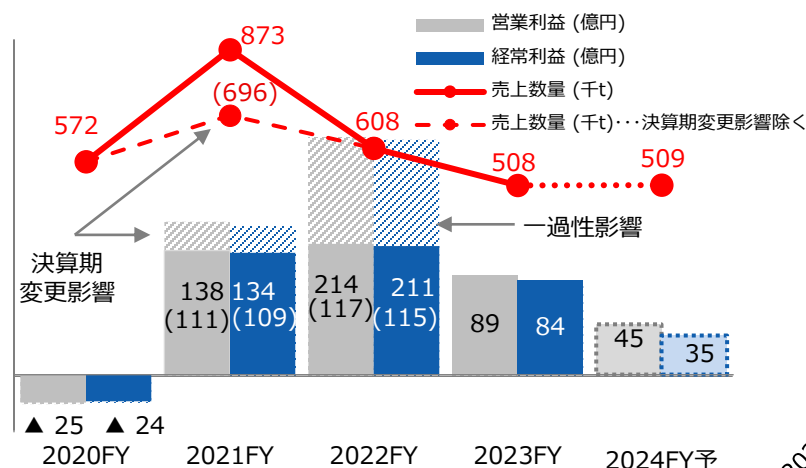
### 通期経常利益35億円(前期比-49億円)

- ・2024FY4-12月期は、欧州の景気回復が進んでいないことや、安価な輸入材の流入、欧州外への生産拠点移転の影響により需要低迷が継続。中級品の拡販を実行しているものの、2024FY3Qにドイツ経済悪化懸念を受けた在庫調整の動き拡大もあり、販売数量が伸びず、**経常利益8億円** (前年同期比-53億円)となった。
- ・OVAKOは、販売数量の構造的変化に対応するため、**徹底的な人員合理化に着手、推進中**。2025FYまでに350名程度の人員削減を計画。なお、人員合理化関係費用として、2024FY3Qまでに特別損失11億円を計上。
- ・その他コスト抑制、カーボンニュートラルの強みを活かした販売等に引き続き取り組み、通期で**経常利益35億円**(前回予想比-20億円)を目指す。

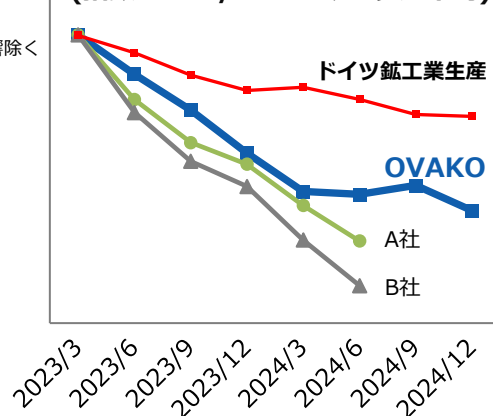
### OVAKO 固定費、人員数推移



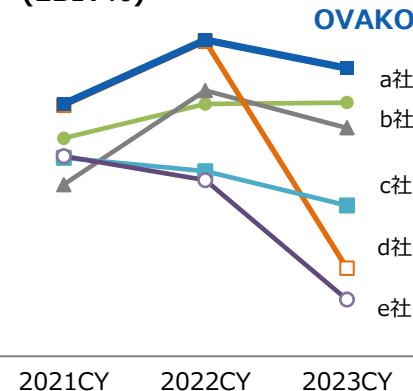
## 売上数量、営業利益、経常利益推移



### 欧州特殊鋼メーカー販売数量とドイツ鋳工業生産 (指数:2023/3=100、3ヶ月平均)



### 欧州同業他社比較 (EBIT%)



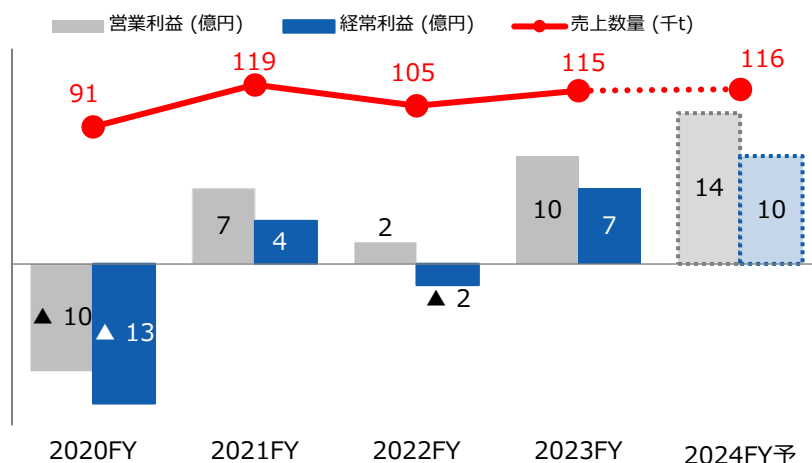
※2024/12のドイツ鋳工業生産は10-11月平均

# SSMIの状況

## 2024FY見通し

- ・2024FYFY1-9月期は、販売価格・構成の改善や、安価鉄源の活用および生産計画の最適化などによるコスト改善施策を実行し、**経常利益6億円(前年同期比+1億円)**となった。
- ・2024FYは、拡販やコスト改善施策を確実に実行しつつ、販売価格や販売構成の維持・改善を通じてマージンを拡大し、**経常利益10億円(前期比+3億円)**を計画。

## 売上数量、営業利益、経常利益推移



## 収益力強化に向けた取り組み

1. 営業基盤・営業体制の強化  
 高純度技術を活かした営業戦略の策定  
 拡販、販売構成の高度化、販売価格の改善
2. 変動費の削減  
 エネルギー原単位改善や安価な鉄源や電力の活用による  
 操業コスト・調達コストの削減  
 (2024年9月より太陽光発電による再エネ由来電力の使用を開始)
3. 固定費の抑制  
 増資に伴う借入金の返済等による、金利コストの削減

・生産、販売、技術、人材、財務面等を一層強化することにより、**中長期的な経済成長が見込まれるインドにおけるプレゼンスをより確固たるものとし、当社グループのグローバル展開の強化と更なる成長を図る。**

## 3. トピックス

# トピックス

## 1. 粉末展示会への出展

### 国内 高機能金属展(メタルジャパン) (2024年10月29~31日)

- ・幕張メッセで開催された「第11回高機能金属展」に出展。
- ・当社ブースには223名が来場。AM※用金属粉末NOVASHAPE®シリーズや高機能磁性粉末など、お客様のニーズに応える高機能金属粉末をPR。



### 海外 Formnext2024 (2024年11月19~22日)

- ・ドイツ・フランクフルトで開催された、世界最大規模のAM※関連展示会に出展。

※3D造形



## 2. 小学校への図書寄贈 (2024年11月18日)

- ・山陽特殊製鋼文化振興財団は、子どもたちが読書を通じて多くの知識を吸収し、豊かな人間性を身に付けられるよう、2016年より姫路市内小学校を対象に図書寄贈を実施。
- ・今年も姫路市の小学校27校へ434冊を寄贈。
- ・財団理事長を務める宮本代表取締役社長は代表の寄贈校を訪問し、校長先生へ目録贈呈を行った。



寄贈先小学校27校の代表1校において目録の贈呈式を実施。寄贈図書は、小学校図書館の蔵書に追加

# トピックス

## 3. 株主向け工場見学会を開催 (2024年11月9日)

- ・当社への理解を深めていただくことを目的とした株主向け工場見学会を開催。
- ・2024年3月末時点で1年以上かつ500株以上保有の株主を対象にご案内。株主の同伴者を含む53名の方にご参加いただいた。
- ・見学終了後の質疑応答では、脱炭素やDX、女性活躍などについて多くのご質問やご意見が寄せられた。



## 4. 第2回「企業の森づくり活動」を実施 (2024年11月21日)

- ・2024年5月の第1回に続き、企業や地域、地元自治体とが協同して森林の保全活動に取り組む「企業の森づくり活動」※を実施。
- ・第2回目の本活動には、当社従業員23名が参加。
- ・今後も森林や里山の保全活動を通じて、生物多様性の保全活動を推進していく。

※2024年5月に、兵庫県、姫路市ならびに公益社団法人兵庫県緑化推進協会と当社の4者間で2029年5月までの5年間を対象期間とした協定を締結。



姫路市立藤ノ木山自然公園の森林の一部(1.46ha)を「さんとくん 未来の森」と名づけ、本活動に取り組み中

### 山陽特殊製鋼レポート2024(統合報告書)発行

当社ホームページにて閲覧可能

<https://www.sanyo-steel.co.jp/social/csr2024.php>



# トピックス

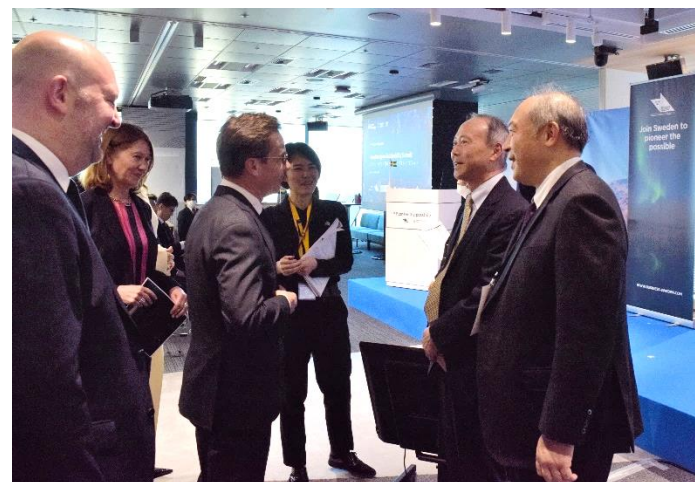
## 5. ストックホルム商科大学においてOVAKO派遣社員が講義 (2024年11月19日)

- ・スウェーデンのストックホルム商科大学において、九州大学とのジョイントプログラム(日欧瑞関係研究に関する集中講座)が開催され、当社欧州子会社OVAKOの日本人派遣社員が講師を務めた。
- ・講義では、日本とスウェーデンの鉄鋼業の連携・協業の歴史や現状を説明。当講義には約30名が出席し、受講者から多くの質問が寄せられた。



## 6. 「スウェーデン・ジャパン サステナビリティ サミット2024」へ参加 (2024年12月2日)

- ・クリステション首相を筆頭としたスウェーデン政府の代表団出席のもと「スウェーデン・ジャパン サステナビリティ サミット2024」が東京で開催。
- ・本サミットは、持続可能性の課題へのスウェーデンと日本の協力による共同事業促進を目的として、スウェーデン大使館とビジネス・スウェーデン主催で開催されたもの。
- ・当社からは八並取締役常務執行役員が参加。クリステション首相と欧州子会社OVAKOの経営について対話した。

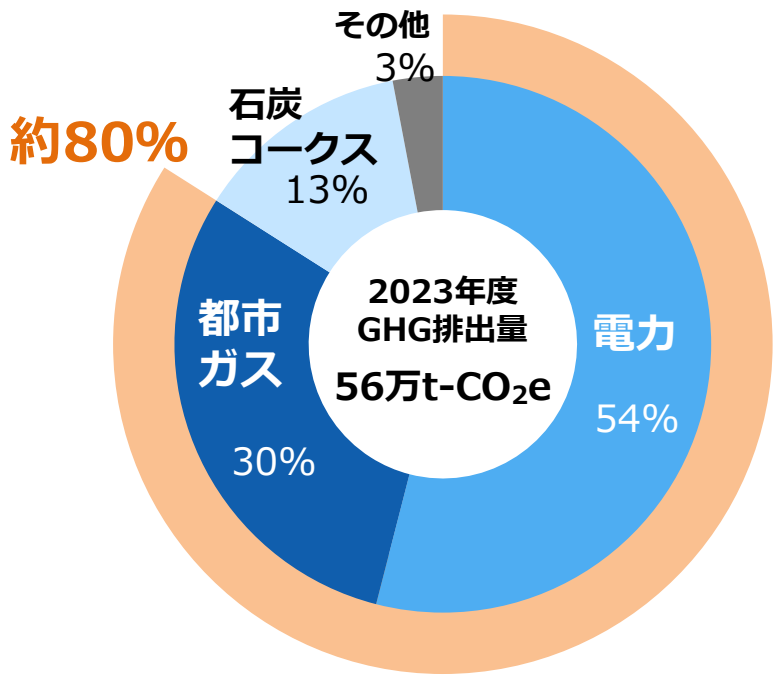


スウェーデンのクリステション首相(中央)と対話する八並取締役常務執行役員(右から2人目)

## **4. 2050年カーボンニュートラル(CN) 実現に向けた取り組み**

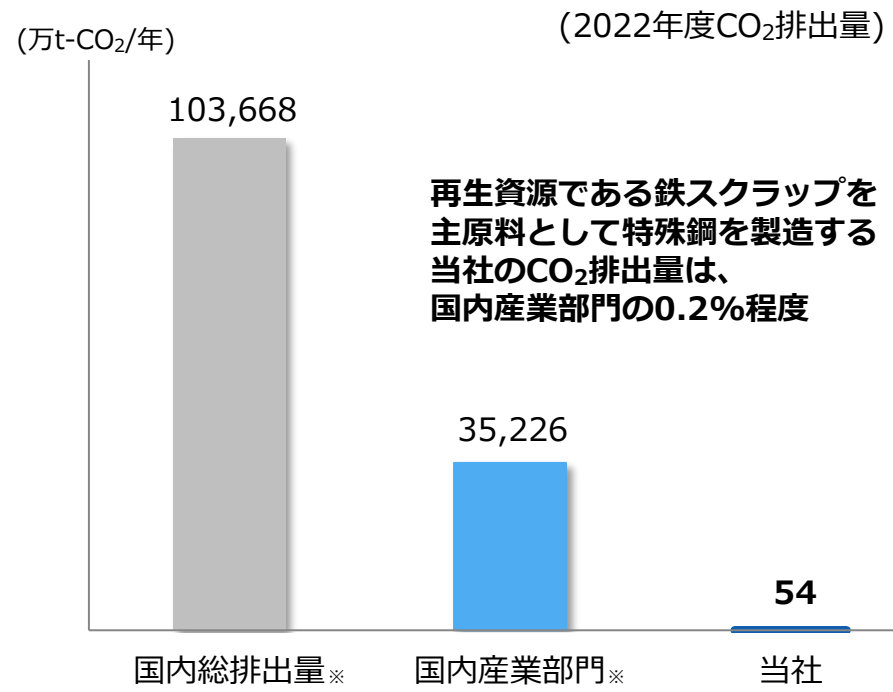
# 当社の状況とカーボンニュートラルに向けた考え方

## ■ 当社のGHG排出量内訳 (当社単独Scope1+2)



当社のGHG排出量の80%以上が電力と都市ガス

## ■ CO<sub>2</sub>排出量における当社の位置づけ



※国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス 日本の温室効果ガス排出量データ (2022年度実績確定値)

### GXリーグへの参画

当社は、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、企業の成長、生活者の幸福そして地球環境への貢献が同時に実現される経済社会システム全体の変革を目指す「GXリーグ基本構想」に賛同、2023年5月にGXリーグに参画した。  
自主的な排出量取引、市場創造のためのルール形成、ビジネス機会の創発、GXスタジオでの交流といったGXリーグにおける活動に積極的に参加していく。

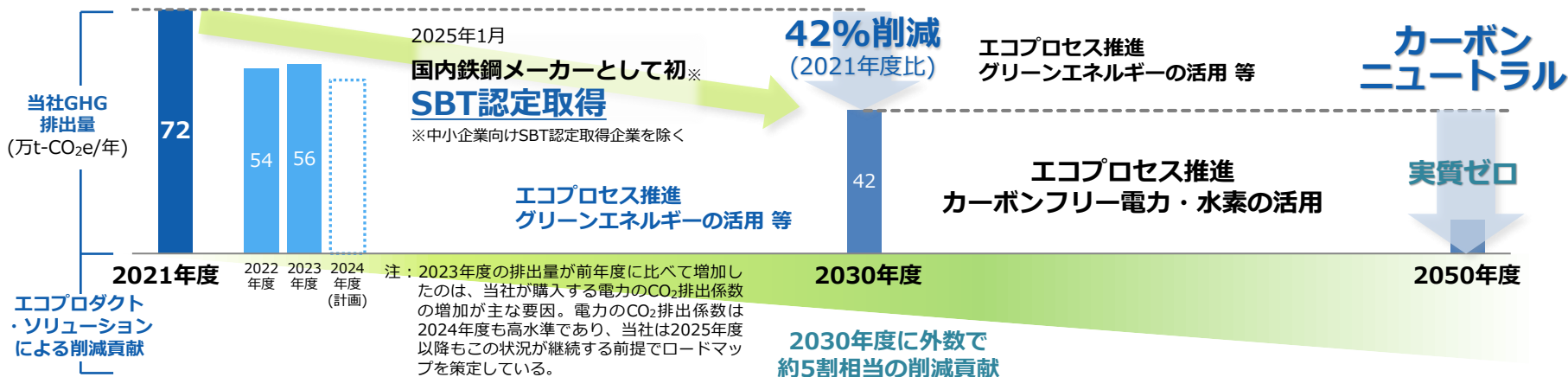




# 2050年に向けた当社のロードマップ

製造工程における省エネとグリーンエネルギーの活用、およびエコプロダクト・エコソリューションによる貢献で、自社の製造工程だけでなく、社会のあらゆる段階でのGHG(温室効果ガス)排出削減を目指す

## 【当社単独Scope1 + 2排出量】



## 当社GHG(温室効果ガス)排出量削減



リジエバーナーを  
採用した省エネ加熱炉

### エコプロセス

製造現場を中心とした全社の省エネ対策やエネルギー効率を高める製造技術開発を推進  
※2023年度からインターナルカーボンプライシングを導入



### グリーンエネルギー活用

カーボンフリー電力や脱化石燃料、自然エネルギーの活用  
※2022年度から再エネ由来電力の一部活用開始  
2024年度から水力・太陽光発電活用開始

## エコプロダクト・エコソリューションによる削減貢献



長寿命風力発電用  
軸受鋼の開発

### エコプロダクト

製品を使用する段階でGHG(温室効果ガス)排出削減に貢献する商品や、需要家のエコプロセスに貢献する商品の開発・供給を推進



海外グループ会社への  
技術展開

### エコソリューション

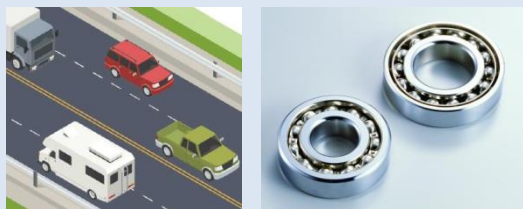
エネルギー原単位削減に寄与する省エネや生産性向上技術をOVAKO、SSMI等の海外グループ会社に展開

# エコプロダクトによるGHG排出量削減への貢献

お客様での部品製造や最終製品としての使用段階におけるGHG(温室効果ガス)排出削減に貢献するエコプロダクトの開発に注力

- ・当社材料技術を活用したエコプロダクトによる社会のあらゆる段階でのGHG(温室効果ガス)排出削減貢献を目指す。
- ・今後も長寿命化等、材料特性をさらに強化したエコプロダクトの実装と一層の普及を図ることで、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献していく。

## 長寿命軸受鋼



耐久性・信頼性向上による  
部品の小型・軽量化

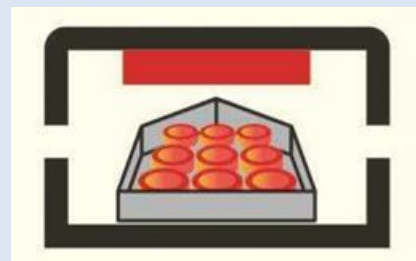


長寿命化による  
故障率低減・メンテフリー化  
(CO<sub>2</sub>削減効果は推計で1.3万トン/年※)

## 工程省略鋼

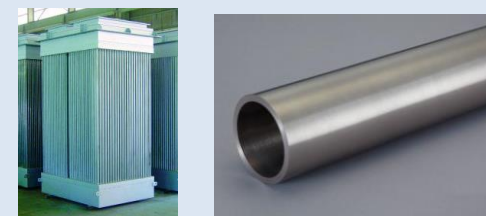


(高強度肌焼鋼：ECOMAX®シリーズ)  
熱処理の省略・簡略化



(高硬度高靱性鋼：TOUGHFIT®)  
新成分+新熱処理技術による  
部品硬化熱処理負荷の軽減

## 耐熱ステンレス鋼管



高強度化による  
熱回収効率向上



高耐食性化による  
ごみ発電効率化

※第18回 日本LCA学会 研究発表会(2023年3月10日)にて発表

# 欧州子会社OVAKOの取り組み

## OVAKOロードマップ

2020年4月 ● **世界初 水素を燃料に用いた鋼片加熱に成功**

2022年1月 ● **カーボンニュートラルに移行**

自社の製造プロセスにおけるGHG(温室効果ガス)排出を実質ゼロに

- ・カーボンオフセットプログラムを活用し、残るGHG(温室効果ガス)排出量を相殺
- ・気候サーチャージを適用

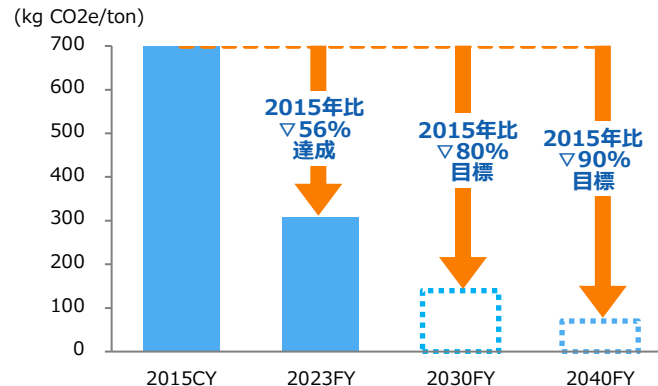
2023年9月 ● **カーボンフリー水素プラント稼働開始**

欧州最大級の設備  
Hofors工場加熱工程で排出するGHG(温室効果ガス)を約50%(約2万t/年)削減可能

### 顧客との協同取り組み事例

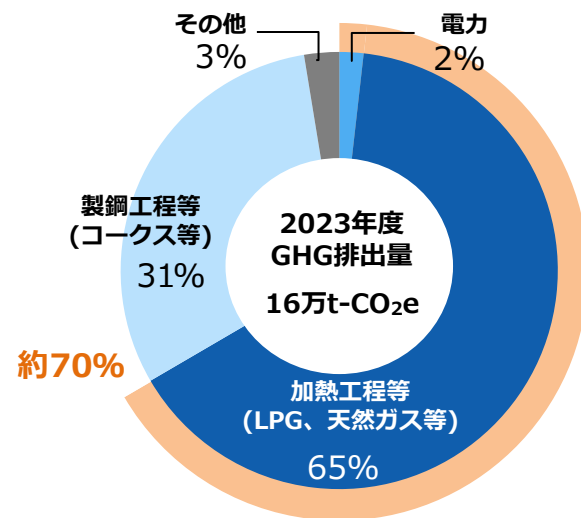
- ・SKFと協同し、GHG(温室効果ガス)排出量90%減の軸受生産を達成
- ・Volvoの温室効果ガス ネットゼロ自動車製造プロジェクトへ参画
- ・FNsteelとパートナーシップ契約を締結

## OVAKOのGHG排出量(Scope1+2)



OVAKO SUSTAINABILITY REPORT 2023をもとに作成

## OVAKOのGHG排出量内訳



# OVAKOのカーボンフリー水素プラントについて

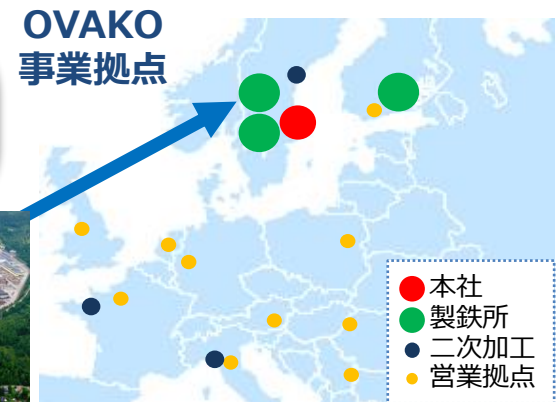
- ・スウェーデン政府の財政支援と現地有力企業(Volvo Group等)の参加を受けて、スウェーデンHofors工場内に建設。
- ・投資総額180百万SEK(スウェーデンクローネ) ※うち約4割をスウェーデン政府が財政支援
- ・脱化石電力を使用した水の電気分解により、毎時約4千 $m^3$ (約3千t/年)のカーボンフリー水素を生成可能。
- ・加熱炉等の燃料をカーボンフリー水素に転換することで、Hofors工場の加熱工程で発生するGHG(温室効果ガス)の約50%(約2万t/年)を削減可能。
- ・このたび完成した水素プラントの稼働で得られる知見等を踏まえ、2030年をひとつの目途として各製鉄所での水素プラント導入を検討するなど、気候変動問題へのさらなる取り組みを推進していく。



OVAKO水素プラントの電解装置

豊かな自然に恵まれたスウェーデンは、脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高く、産業用電力料金は日本の1/2~1/3程度

OVAKO  
Hofors工場



## カーボンフリー水素プラント開所式

2023年9月5日にスウェーデンのクリステション首相をはじめとする多数の来賓列席のもと、開所式を挙げる。

(中央)スウェーデン首相、  
(左)当社代表取締役社長、  
(右)OVAKO CEO



# インド子会社SSMIの取り組み

## 再エネ由来電力の活用や燃料転換、省エネを推進

再エネ由来電力の活用や、従来の燃料油からクリーンで効率的な天然ガスへの燃料転換、エネルギー効率の高い生産プロセスや設備の導入等を推進。

## SSMIロードマップ

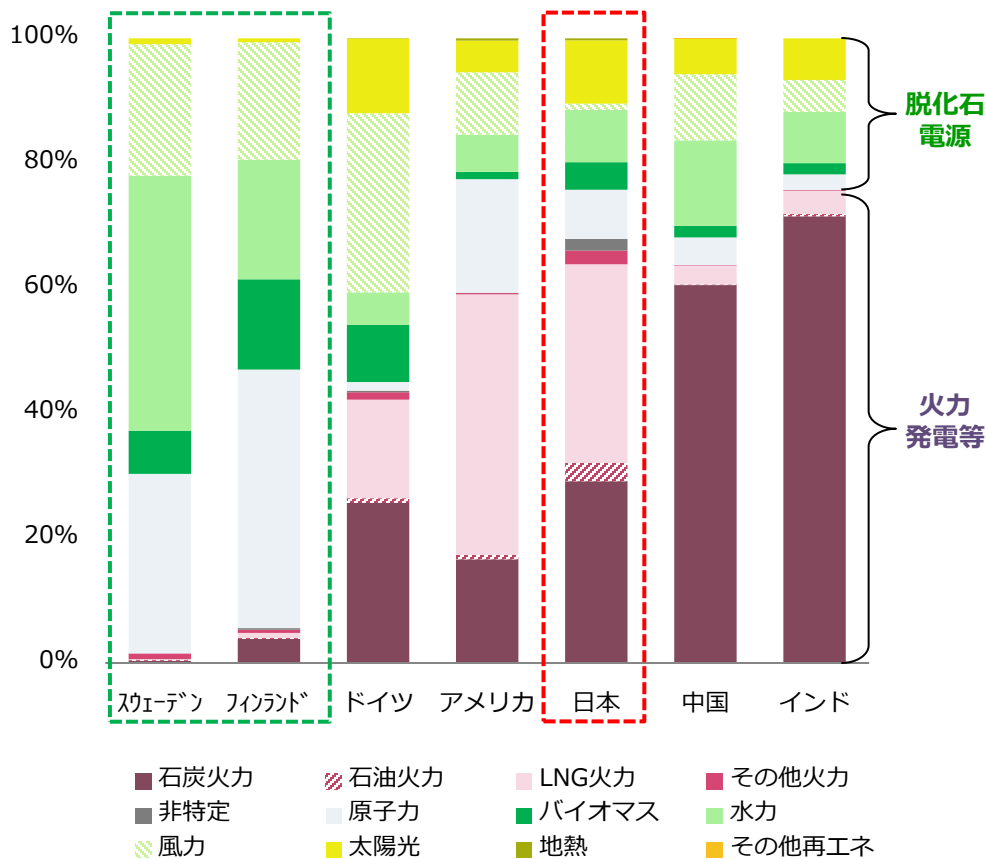


Tata Powerグループと太陽光発電による再エネ由来電力の購入契約を締結

# 各国の電源構成と産業用電力価格

## 電源構成(2023年)

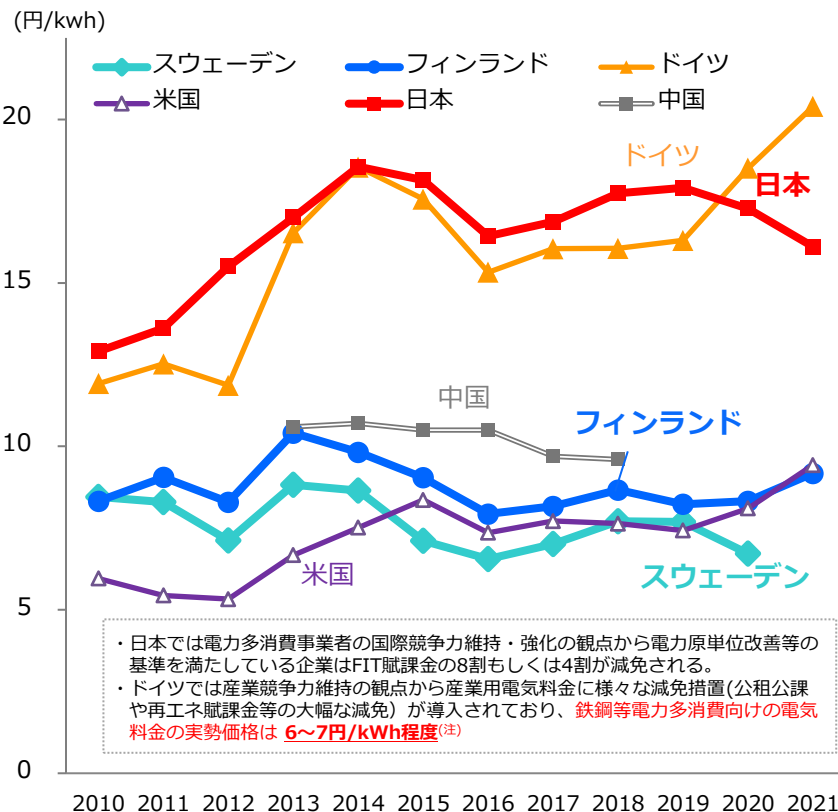
OVAKOの生産拠点が立地するスウェーデン、フィンランドは脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高い。



※ IEA(国際エネルギー機関)「Monthly Electricity Statistics」より当社作成

## 産業用電力価格の推移

スウェーデン、フィンランドの産業用電力価格は日本の1/2~1/3程度。



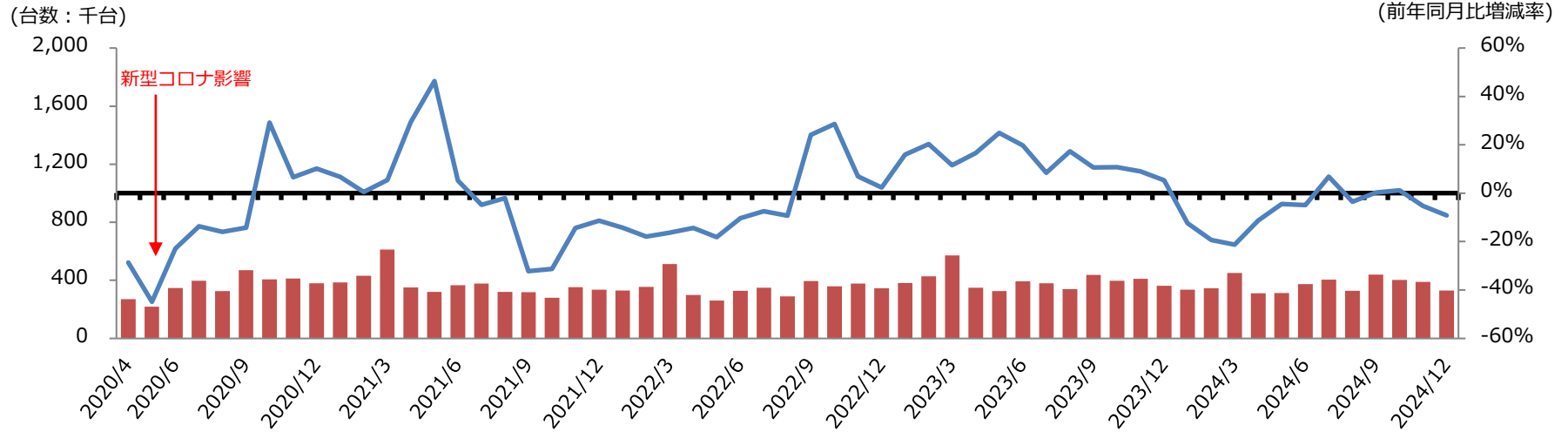
※ スウェーデン・フィンランド・ドイツ・米国・日本については英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省「Industrial electricity prices in the IEA」より、中国については、(公財)自然エネルギー財団「中国の電力システム改革」より当社作成

(注) 国際環境経済研究所「海外のカーボンプライシングの実態」

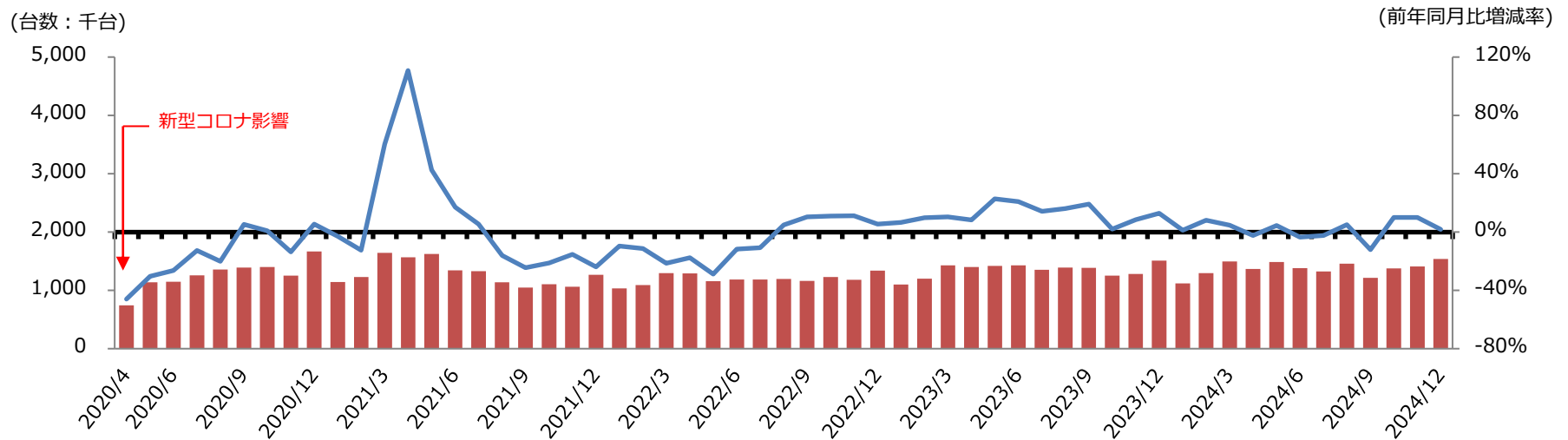
## 5. 參考資料

# 自動車市場の動向

## 日本自動車販売台数 出典：マークラインズ



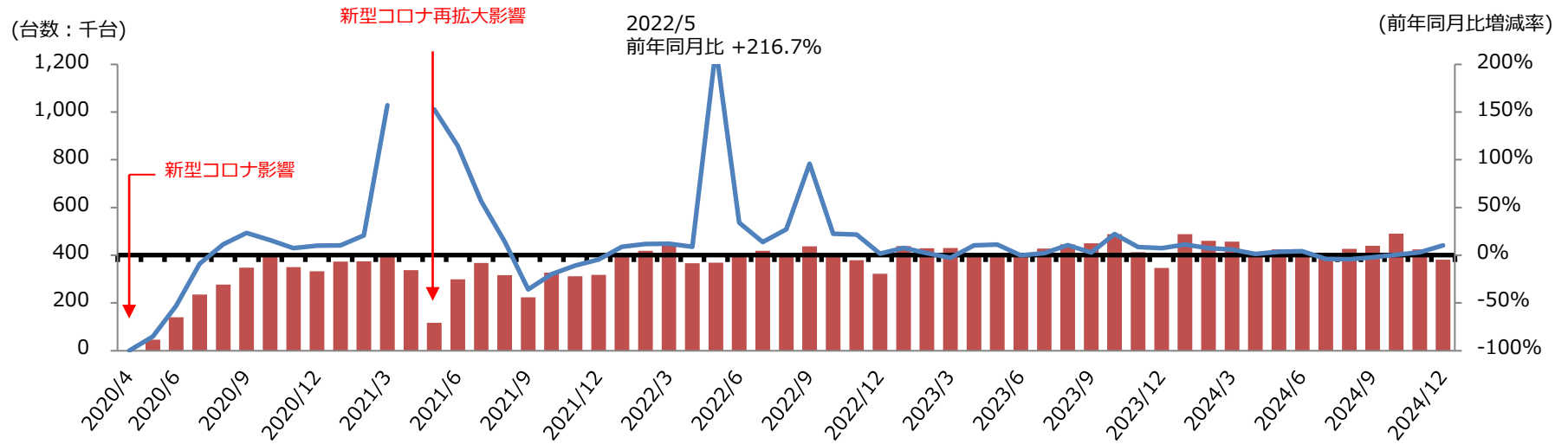
## 米国自動車販売台数 出典：マークラインズ



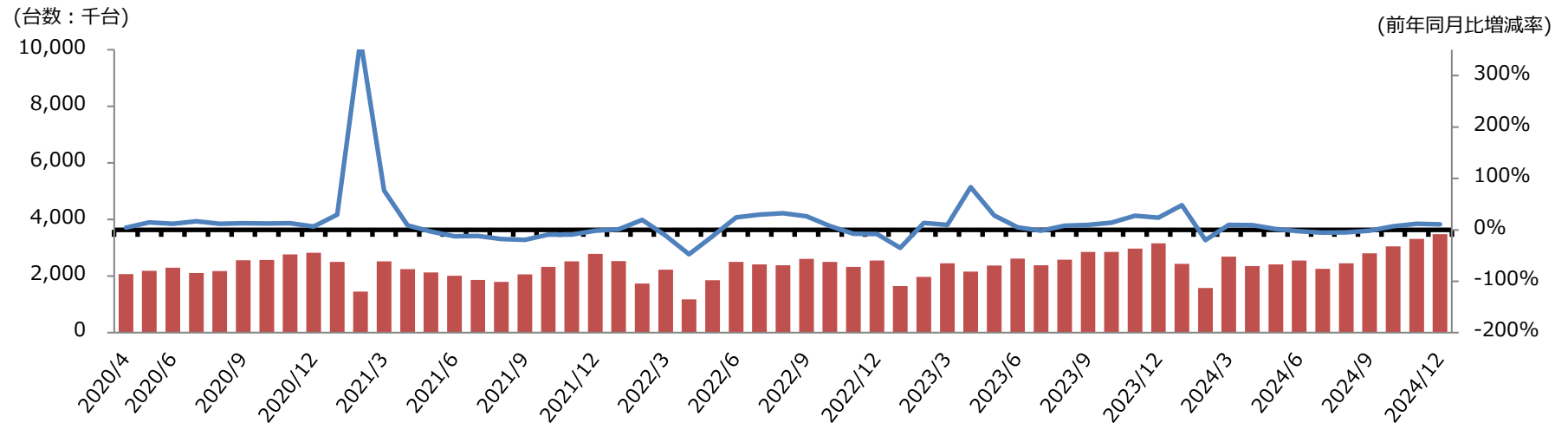


# 自動車市場の動向

## インド自動車販売台数 出典：マークラインズ

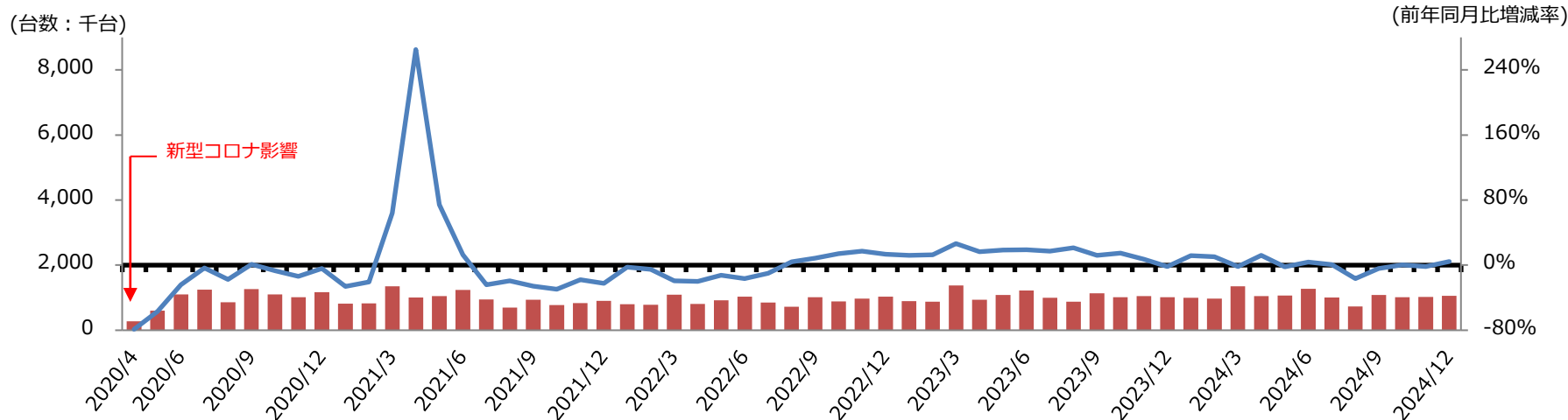


## 中国自動車販売台数(工場出荷台数ベース) 出典：マークラインズ

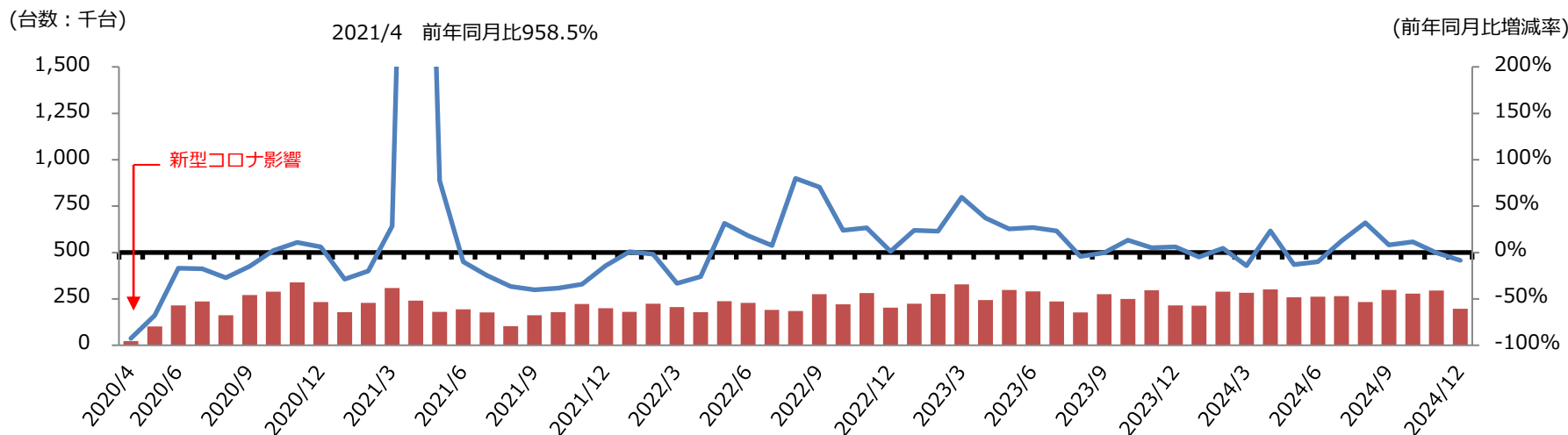


# 自動車市場の動向

## 欧州自動車販売台数 出典：ACEA

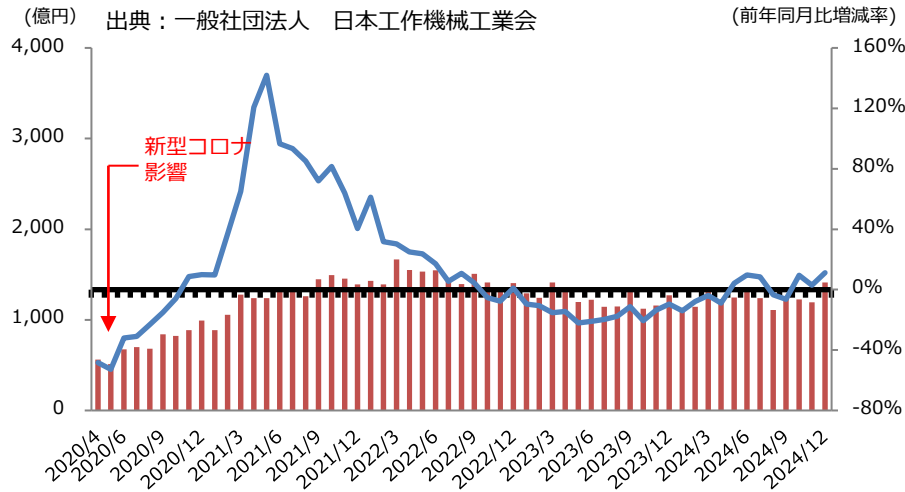


## ドイツ自動車輸出台数 出典：VDA

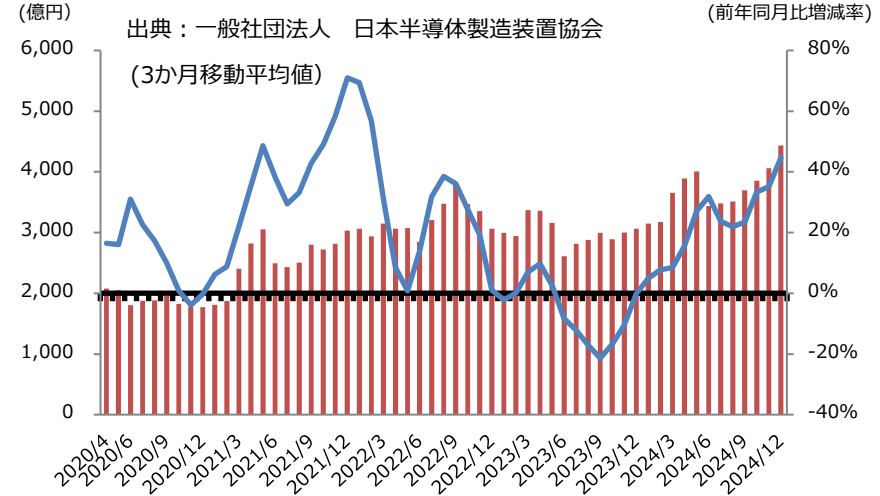


# 産業機械・建設機械市場の動向

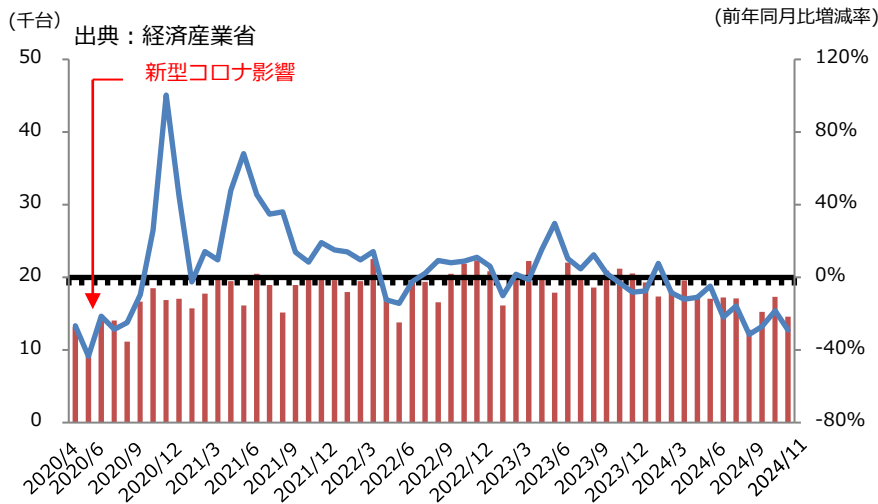
## 工作機械受注金額(日本)



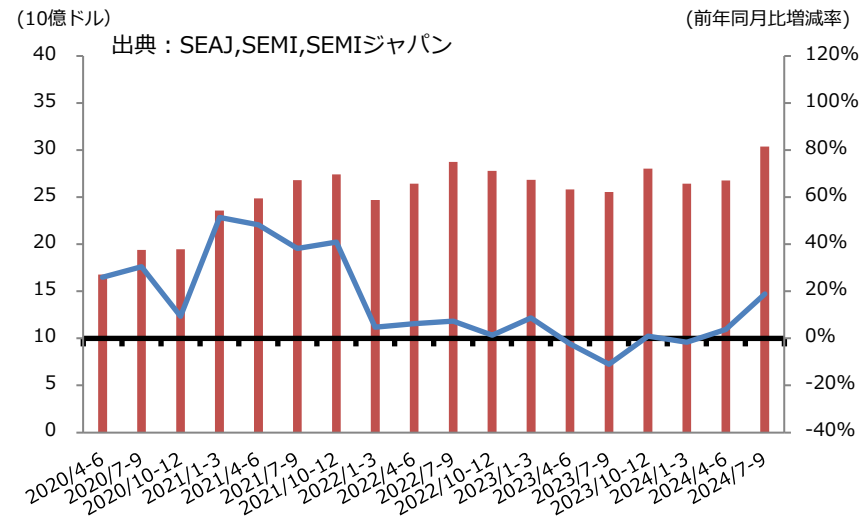
## 半導体製造装置販売金額(日本)



## ショベル系建設機械国内生産台数

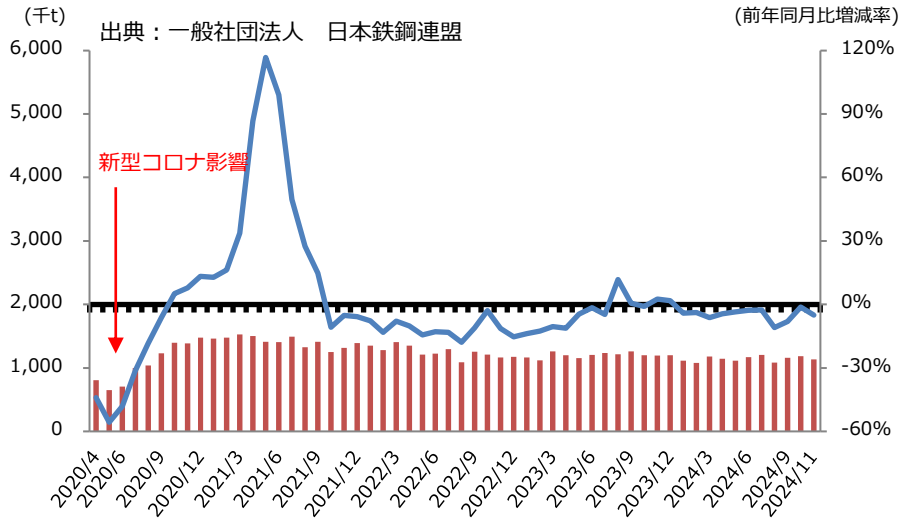


## 半導体製造装置販売金額(世界)

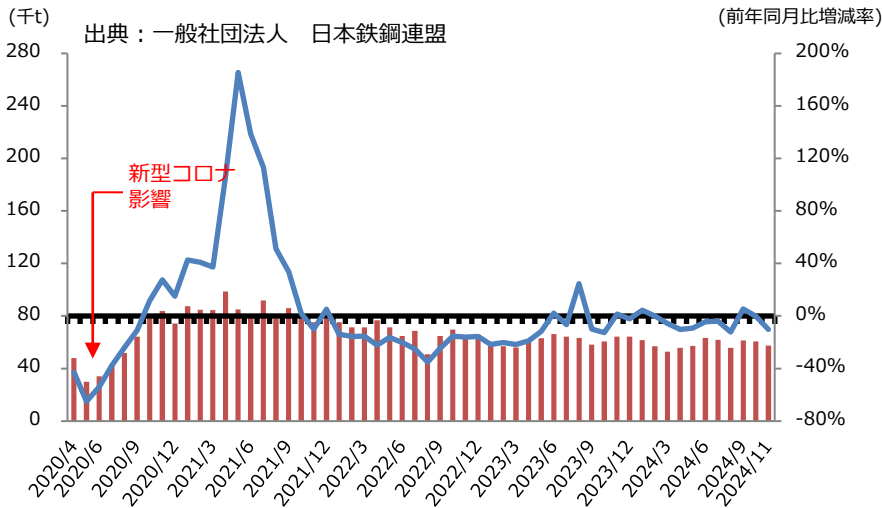


# 特殊鋼需要の動向

## 日本特殊鋼受注数量(特殊鋼)



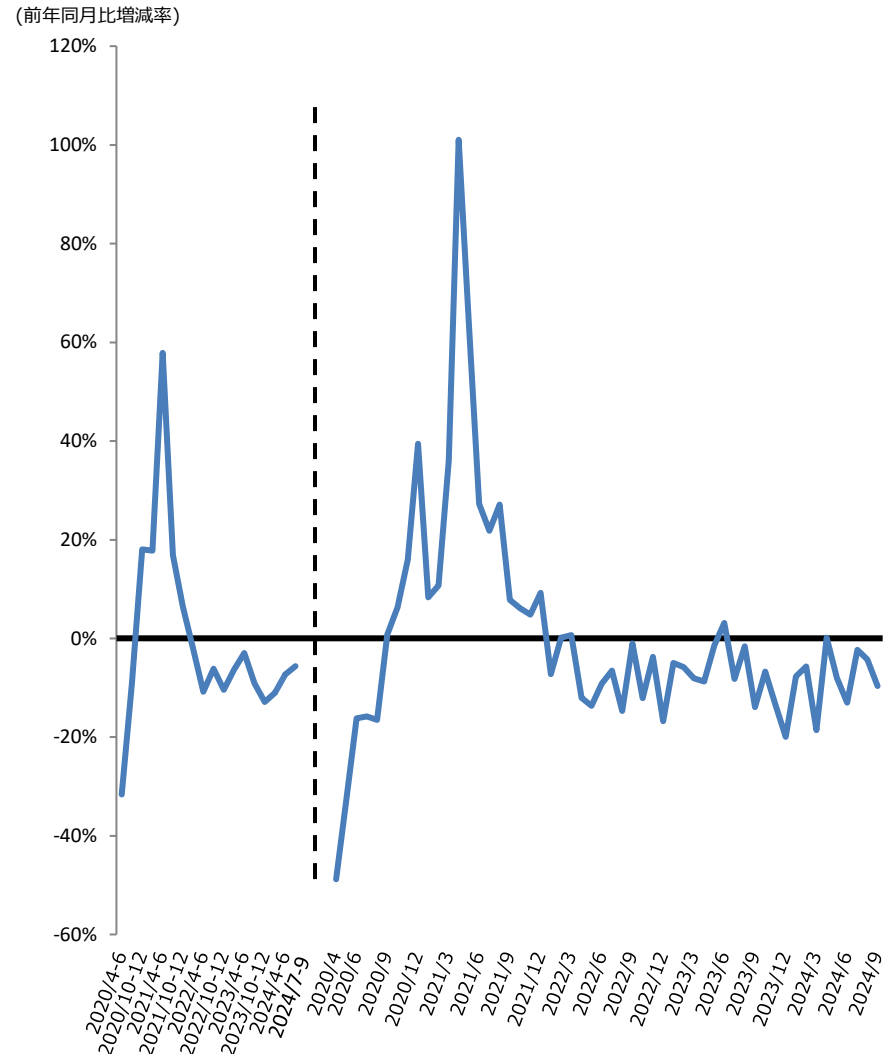
## 日本特殊鋼受注数量(軸受鋼)



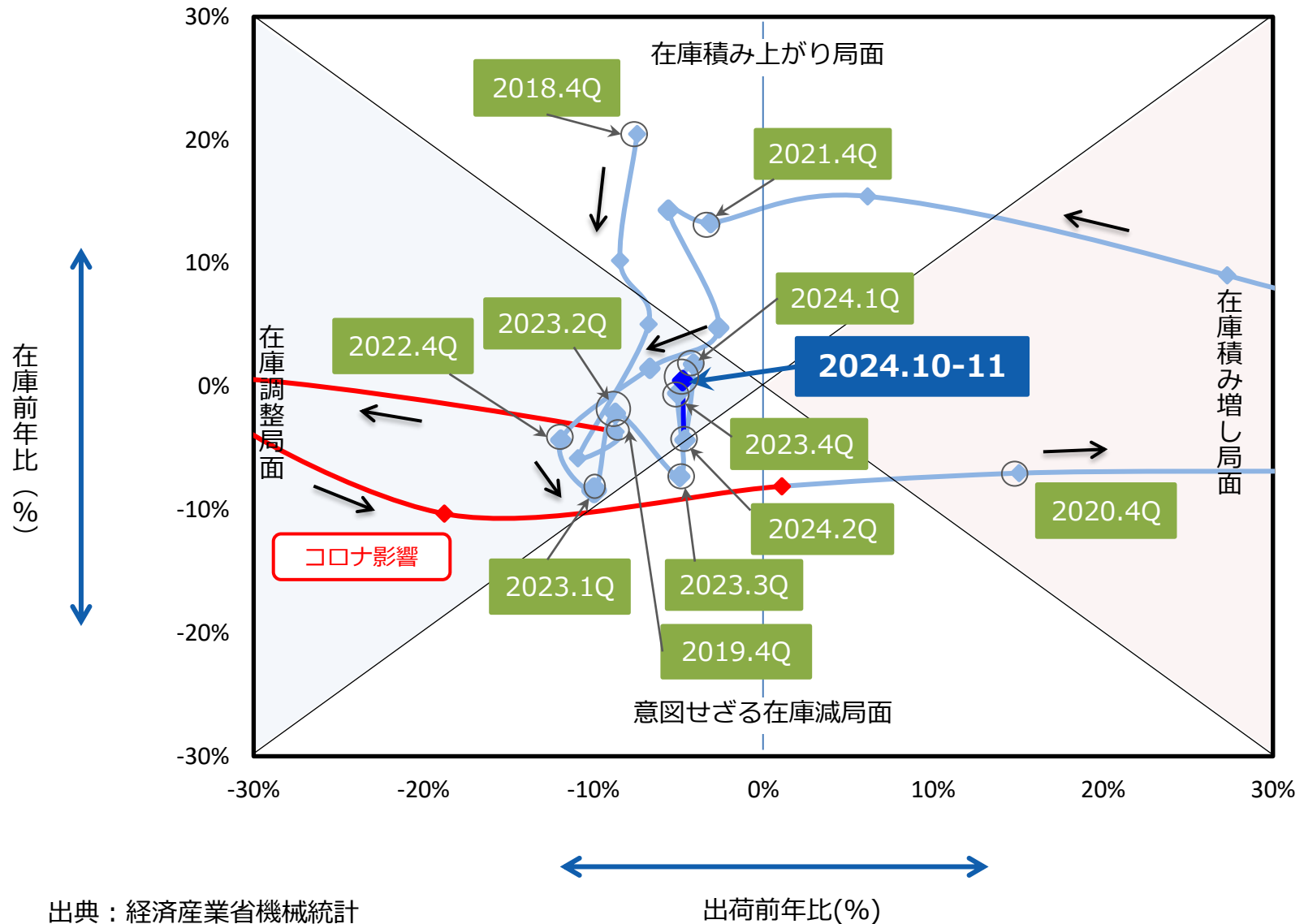
## 欧州デリバリー数量

### 棒鋼&平鋼/構造用合金鋼

出典：欧州鉄鋼連盟



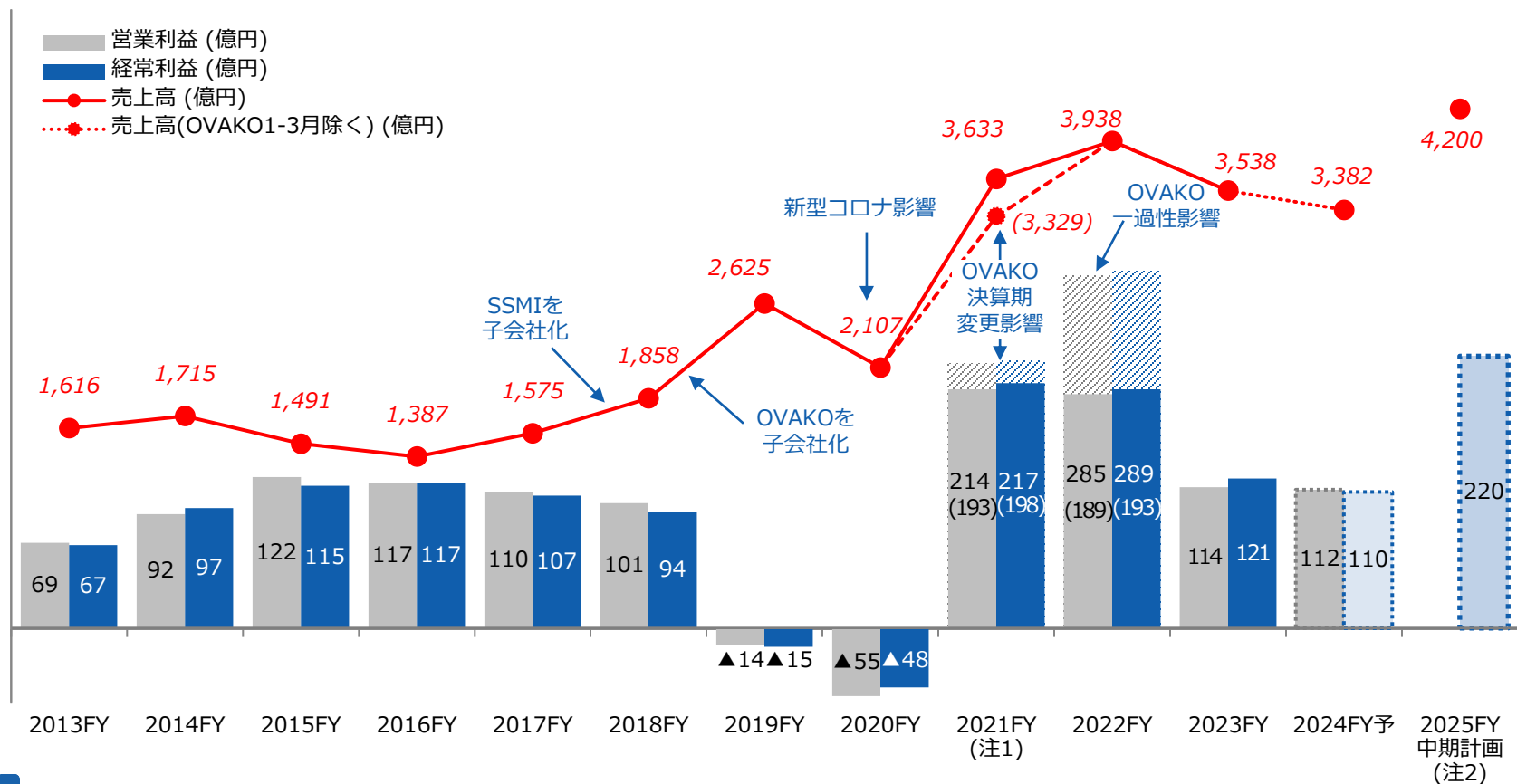
# 軸受在庫循環図



出典：経済産業省機械統計

出荷前年比 (%)

# 業績推移(年度)



## ROE

4.1% 6.1% 6.6% 6.6% 5.6% 4.8% -2.0% -3.9% 8.1% 10.1% 4.1% 3.1% 7%

## ROE(のれん償却費除く)

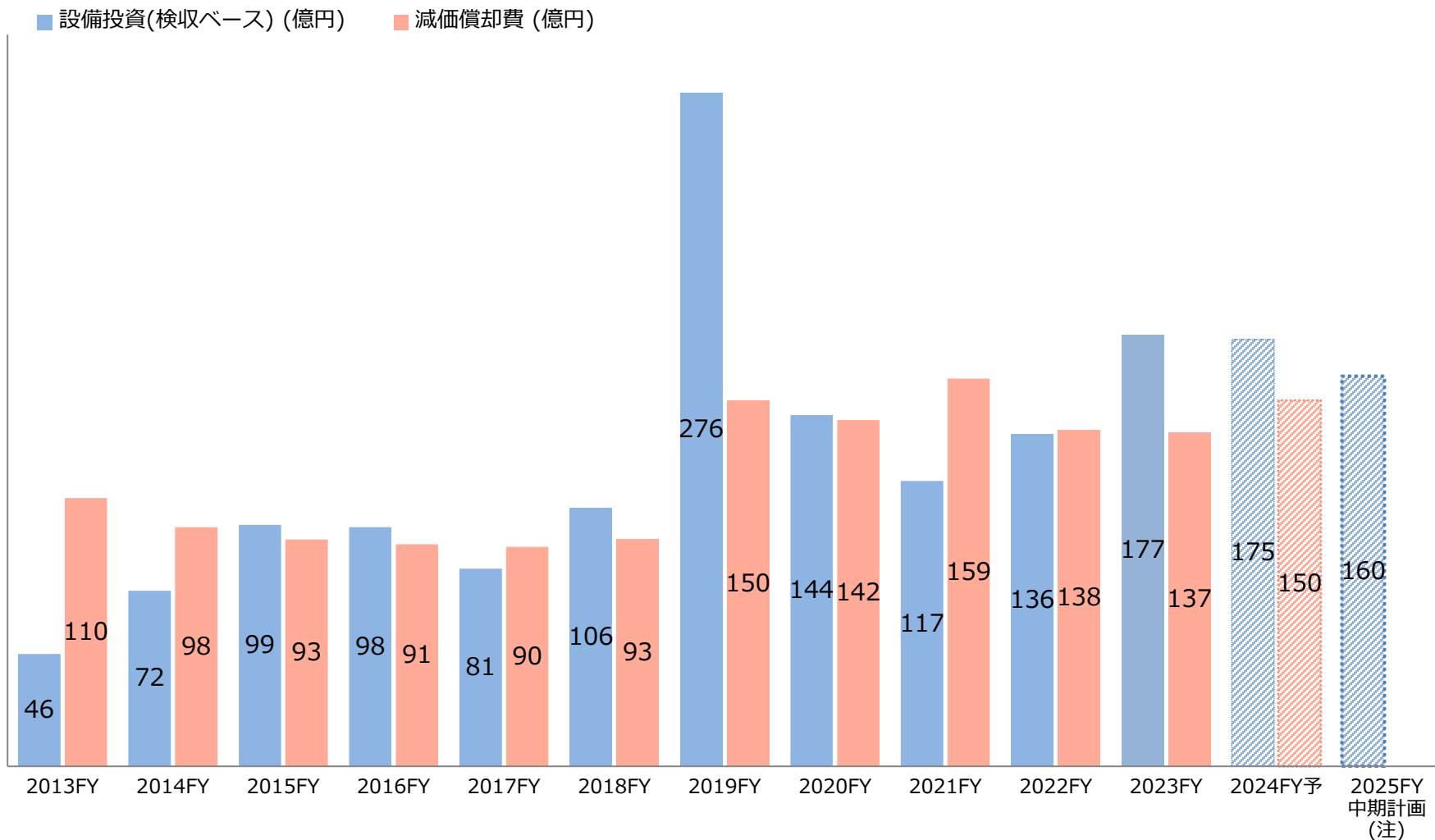
4.1% 6.1% 6.6% 6.6% 5.6% 4.8% 0.3% -2.4% 9.9% 11.5% 5.6% 4.6% 8%

(注1)2021FYのOVAKOおよびのれん償却費は2021年1月~2022年3月の15カ月の数値

(注2)2023年7月28日公表値

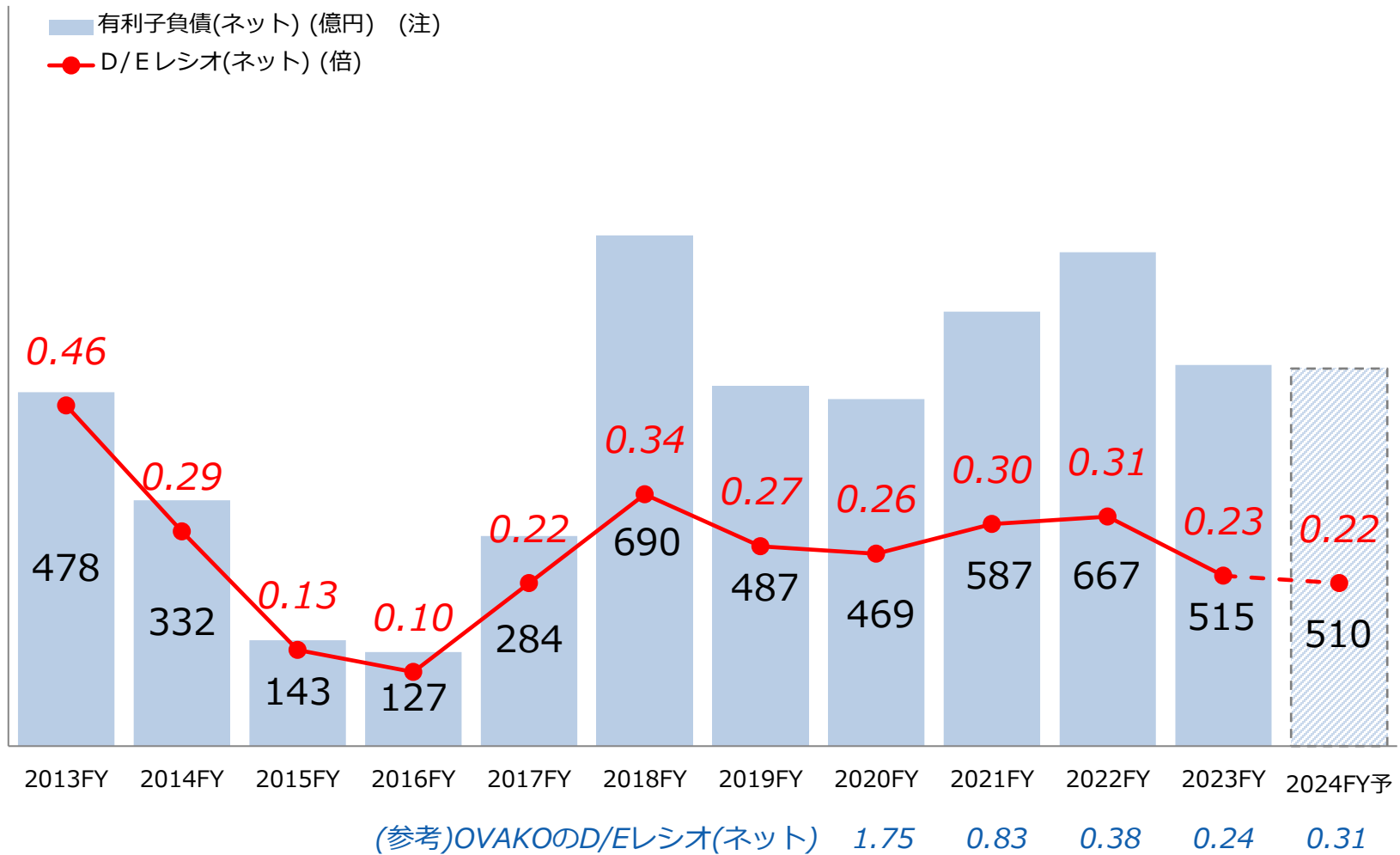
(注3)SSMIは2018FY2Qから、OVAKOは2019FY1Qから損益を連結

# 設備投資・減価償却費の推移



(注)2023年7月28日公表値

# D/Eの推移



(注)有利子負債(ネット)は、有利子負債残高から現預金および関係会社預け金残高を控除したものの



# 損益の詳細 (対2023FY/4-12月期)

(単位：億円、円/株)

	2024FY/4-12月期 (A)	2023FY/4-12月期 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
<b>売上高</b>	<b>2,470</b>	<b>2,690</b>	<b>-219</b>	<b>-8.2</b>
内、当社単独	1,227	1,393	-166	-11.9
内、OVAKO	1,001	1,069	-68	-6.4
内、SSMI	174	171	+3	+1.6
<b>営業利益</b>	<b>38</b>	<b>88</b>	<b>-51</b>	<b>-57.3</b>
内、当社単独	45	35	+10	+30.2
内、OVAKO	14	67	-53	-78.7
内、SSMI	9	7	+1	+15.6
内、のれん償却費	▲26	▲24	-2	-
<b>経常利益</b>	<b>32</b>	<b>91</b>	<b>-59</b>	<b>-65.0</b>
内、当社単独	80	76	+3	+4.6
内、OVAKO	8	61	-53	-87.5
内、SSMI	6	5	+1	+24.2
内、のれん償却費	▲26	▲24	-2	-
<b>税後利益 (注1)</b>	<b>12</b>	<b>63</b>	<b>-51</b>	<b>-80.4</b>
<b>1株当たり税後利益</b>	<b>22.8</b>	<b>115.9</b>	<b>-93.1</b>	<b>-80.4</b>
のれん償却費を除く営業利益	63	112	-49	-43.7
のれん償却費を除く経常利益	57	115	-58	-50.1
のれん償却費を除く税後利益	38	87	-49	-56.4
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	69.8	160.1	-90.4	-56.4
<b>売上数量 (千t)</b>	<b>1,004</b>	<b>1,092</b>	<b>-88</b>	<b>-8.1</b>
内、当社単独	556	629	-73	-11.7
内、OVAKO	365	376	-11	-3.0
内、SSMI	83	86	-3	-3.5

(注1)親会社株主に帰属する四半期純利益

(注2)SSMI：1月～9月の数値

# 損益の詳細 (業績予想 2025/1/31公表 対前年度)

(単位：億円、円/株)

	24FY上期実績 (A)	24FY下期予想 (B)	2024FY予想 (C)=(A)+(B)	2023FY (D)	増減 (C)-(D)	増減率 (%)
<b>売上高</b>	<b>1,684</b>	<b>1,698</b>	<b>3,382</b>	<b>3,538</b>	<b>-156</b>	<b>-4.4</b>
内、当社単独	808	851	1,659	1,782	-123	-6.9
内、OVAKO	708	662	1,370	1,440	-70	-4.9
内、SSMI	120	130	250	229	+21	+9.2
<b>営業利益</b>	<b>31</b>	<b>81</b>	<b>112</b>	<b>114</b>	<b>-2</b>	<b>-1.5</b>
内、当社単独	24	48	72	43	+29	+68.4
内、OVAKO	24	21	45	89	-44	-49.6
内、SSMI	6	8	14	10	+4	+41.7
内、のれん償却費	▲17	▲17	▲34	▲32	-2	-
<b>経常利益</b>	<b>26</b>	<b>84</b>	<b>110</b>	<b>121</b>	<b>-11</b>	<b>-9.2</b>
内、当社単独	53	62	115	90	+25	+28.3
内、OVAKO	21	14	35	84	-49	-58.5
内、SSMI	4	6	10	7	+3	+49.4
内、のれん償却費	▲17	▲17	▲34	▲32	-2	-
<b>税後利益 (注1)</b>	<b>15</b>	<b>55</b>	<b>70</b>	<b>91</b>	<b>-21</b>	<b>-22.7</b>
<b>1株当たり税後利益</b>	<b>28.2</b>		<b>128.5</b>	<b>166.2</b>	<b>-37.7</b>	<b>-22.7</b>
のれん償却費を除く営業利益	48	98	146	146	-0	-0.1
のれん償却費を除く経常利益	43	101	144	154	-10	-6.3
のれん償却費を除く税後利益	32	72	104	123	-19	-15.5
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	59.6		190.9	225.8	-34.9	-15.5
<b>売上数量 (千t)</b>	<b>683</b>	<b>699</b>	<b>1,382</b>	<b>1,429</b>	<b>-47</b>	<b>-3.3</b>
内、当社単独	367	390	757	806	-49	-6.0
内、OVAKO	259	250	509	508	+1	+0.3
内、SSMI	56	59	116	115	+1	+0.5

(注1)親会社株主に帰属する当期純利益

(注2)SSMI：1月～12月の数値

# 損益の詳細 (業績予想 2025/1/31公表 対前回予想)

(単位：億円、円/株)

	2024FY			2024FY		増減 (C)-(D)
	上期実績	下期今回予想	通期今回予想	下期前回予想	通期前回予想	
	(A)	(B)	(C)=(A)+(B)	(D)	(C)-(D)	
<b>売上高</b>	<b>1,684</b>	<b>1,698</b>	<b>3,382</b>	<b>1,736</b>	<b>3,420</b>	<b>-38</b>
内、当社単独	808	851	1,659	812	1,620	+39
内、OVAKO	708	662	1,370	742	1,450	-80
内、SSMI	120	130	250	130	250	-
<b>営業利益</b>	<b>31</b>	<b>81</b>	<b>112</b>	<b>101</b>	<b>132</b>	<b>-20</b>
内、当社単独	24	48	72	48	72	-
内、OVAKO	24	21	45	41	65	-20
内、SSMI	6	8	14	8	14	-
内、のれん償却費	▲17	▲17	▲34	▲17	▲34	-
<b>経常利益</b>	<b>26</b>	<b>84</b>	<b>110</b>	<b>104</b>	<b>130</b>	<b>-20</b>
内、当社単独	53	62	115	62	115	-
内、OVAKO	21	14	35	34	55	-20
内、SSMI	4	6	10	6	10	-
内、のれん償却費	▲17	▲17	▲34	▲17	▲34	-
<b>税後利益 (注1)</b>	<b>15</b>	<b>55</b>	<b>70</b>	<b>80</b>	<b>95</b>	<b>-25</b>
<b>1株当たり税後利益</b>	<b>28.2</b>		<b>128.5</b>		<b>174.4</b>	<b>-45.9</b>
のれん償却費を除く営業利益	48	98	146	118	166	-20
のれん償却費を除く経常利益	43	101	144	121	164	-20
のれん償却費を除く税後利益	32	72	104	97	129	-25
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	59.6		190.9		236.8	-45.9
<b>売上数量 (千t)</b>	<b>683</b>	<b>699</b>	<b>1,382</b>	<b>725</b>	<b>1,408</b>	<b>-26</b>
内、当社単独	367	390	757	390	757	-
内、OVAKO	259	250	509	276	535	-26
内、SSMI	56	59	116	59	116	-

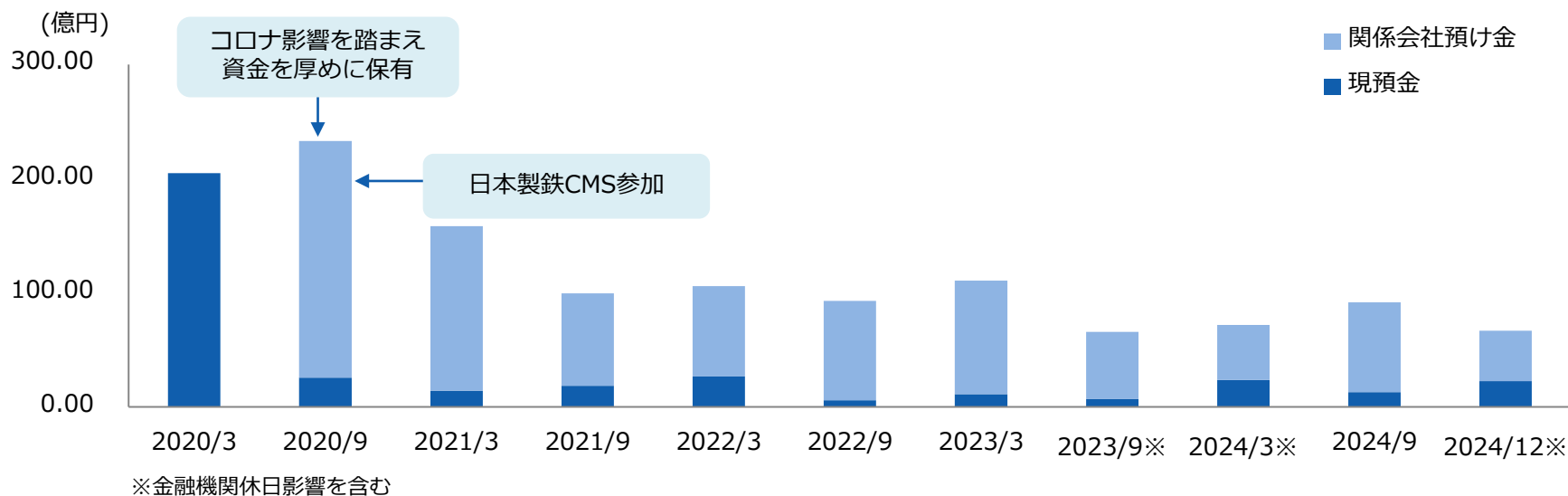
(注1)親会社株主に帰属する当期純利益

(注2)SSMI：1月～12月の数値

# 関係会社預け金

- 2020年6月より、日本製鉄の連結キャッシュマネジメントシステムに参加。
- 当社の日々の残高を日本製鉄に預けるとともに、当社として資金所要があればいつでも引き出し可能。
- 万が一当社に資金ショートが発生した場合には、自動的に緊急融資がされる仕組み。  
(資金のセーフティネットとして機能)
- 従来の現預金の保有では得られなかった利息を受領できる。
- 会計処理上は、預け金という形になっているが、必要に応じて当社の運転資金となるものであるため、従来の現預金という性質には変わらない。

## 関係会社預け金を含む現預金等の推移(単独)



(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。

# SANYO SPECIAL STEEL - the Confident Choice



<https://www.sanyo-steel.co.jp/>